I·O DATA

地上・BS・110度 CS デジタルハイビジョンチューナー

# HVT-BCT300

# 取扱説明書

本書は、必要なときにすぐに手に取れる
所に保管してください。

# もくじ

## はじめに


## 準備する


## テレビを見る


## テレビを録画する


## HDD/SD カード内のデータを再生する


## サーバー内のデータを再生する


## 共有する


## ビデオカメラの映像を保存する

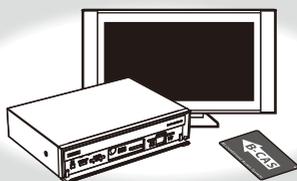

## その他の設定


## 画面のようす


## 困ったときには


## 資料

## 準備する

テレビを見るための初期設定について説明しています。
まずはこちらをお読みください。

## テレビを見る / 録画する

チャンネルを変えたり、番組表を見る方法や、HDD をつないで、テレビを録画・再生する方法を説明します。予約や録画番組を削除する方法も説明しています。

## HDD や SD カード内のデータを再生する

つなぐ方法、再生する方法について説明しています。

## 画面のようす…88 ページ

メニューや画面表示について説明しています。使用中の画面について知りたいときにご覧ください。

## 困ったときには…104 ページ

使っていて困ったときには、まずこちらをご覧ください。
問題とその対処方法が記載されています。

# 安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼警告および注意表示

| | |
|---|---|
|  警告 | この表示の注意事項を守らないと、死亡または重症を負うことがあります。 |
| 注意 | この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。 |

▼絵記号の意味

| | |
|---|---|
|  | 禁止 |
|  | 指示を守る |

## 警告（本製品全般について）

**本製品を修理・改造・分解しない**

火災や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

**雷が鳴り出したら、本製品や電源ケーブルには触れない**

感電の原因になります。

**ぬらしたり、水気の多い場所で使わない**

火災・感電の原因になります。

・お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

・水の入ったもの ( コップ、花びんなど ) を上に置かないでください。

**故障や異常のまま、つながない**

本製品に故障や異常がある場合は、必ず接続している機器から取り外してください。そのまま使うと、火災・感電・故障の原因になります。

**本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない**

火災・感電の原因になります。

**じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない**

火災・感電の原因になります。

**煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐに使うのを止める**

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

## ⚠ 警告（AC アダプター・ケーブルについて）

**添付の AC アダプターや接続ケーブルは、他の機器に接続しない**

添付の電源ケーブルおよび AC アダプターは本製品専用です。他の機器に取り付けると、火災や感電の原因になります。

**AC100V（50/60Hz）以外のコンセントにつながない**

発熱、火災のおそれがあります。

**ゆるいコンセントにつながない**

電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因になります。

**ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わない**

火災・感電の原因になります。

**電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らない**

電源プラグを持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張るとケーブルに傷が付き、火災や感電の原因になります。

**熱器具のそばに配線しない**

ケーブル被覆が破れ、火災や感電、やけどの原因になります。

**決められた電源・ケーブルを使う**

所定以外の電源およびケーブルで、本製品を使うと火災・感電の原因になります。

## ⚠ 警告（電池について）

### 電池について、以下のことに注意する

故障、発熱、破裂、発火、液漏れにより、けがややけどの原因になります。
●指定の電池以外は使わないでください。
●火の中に入れたり、加熱したりしないでください。また、直射日光の当たる場所、高温多湿の場所、車中等に放置しないでください。
●（＋）（－）を逆にセットしないでください。
●（＋）（－）を金属類で短絡させたり、はんだ等を使わないでください。
●ネックレスやヘヤピン等の金属と一緒に持ち運ばないでください。
●使用中、保管時等に発熱したり、異臭を発したり、変色、変形、その他今までと異なる場合は使うのを止めてください。
●容量、種類、銘柄の違う電池を混ぜて使わないでください。
●電池を使い切ったときや、長時間使わないときは取り出してください。
●電池を充電しないでください。

### 電池の液が漏れたときは直ちに火気より離す

漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。また電池の液が目に入ったり体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因になります。
●液が漏れたとき
→漏れた液に触れないように注意しながら、直ちに火気より離してください。乾いた布などで電池ケースの周りをよくふいてください。
●液が目に入ったとき
→目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。
●液が体や衣服についたとき
→すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流してください。

### 電池を乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因になります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。

## ⚠ 注意

**本製品を踏まない**

破損し、ケガの原因になります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

**人が通行するような場所に配線しない**

足を引っ掛けると、けがの原因になります。

# 使用上のご注意

**注意　大切なデータを守るために**

●動作中にケーブルを抜いたり、激しく動かしたりしない。
接触不良によりデータ破壊などの原因になります。
●本製品のコネクター部分には直接手を触れない。
静電気が流れ、データが破壊されるおそれがあります。
●本製品にアクセス中に電源を切ったりしない。
故障の原因になり、データを消失するおそれがあります。
※本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの補償は一切いたしかねます。

●本製品と同じ周波数帯域を用いる機器は離してお使いください。
本製品は 1032MHz ～ 2071MHz の周波数帯域を使っています。
携帯電話などの同じ周波数帯域を用いる機器を、本製品やアンテナ同軸ケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像や音声に不具合が生じる場合があります。また、アンテナをつなぐ際に、アンテナ同軸ケーブル･分配器･分波器などの機器を使う場合は、共聴用のものをご用意ください。
●動かない映像を長時間映さないでください。
本製品につないだテレビやプロジェクターに映像が焼き付き、陰のように画面に残るおそれがあります。
●本製品は、（社）電波産業会 (ARIB) の策定規格に基づいた仕様となります。
将来、規格に変更があった場合は、事前の予告なく本製品の仕様を変更することがあります。
●同梱されている B-CAS カードは、地上デジタル放送・BS デジタル放送・110 度 CS デジタル放送を視聴していただくための大切なカードです。ご使用の際はカードが付属されている紙面の内容を必ず理解した上で、カードを取り出してください。B-CAS カードの取り扱い、保管はお客様ご自身の責任となります。万一、破損、故障、紛失した場合は、B-CAS カスタマーセンターへご連絡ください。
●大切な録画は…
・必ず事前に試し録画をして、正常に録画されることを確認してください。
・本製品を使用中、万一これらの故障や不具合により録画できなかった場合の録画内容の保証については、ご容赦ください。
・本製品の動作中に停電などが発生すると、場合により録画された内容が消去されてしまう場合があります。

●メールなどのデジタル放送に関する情報は、本製品が記録します。万一、本製品の不具合によってこれらの情報が消失した場合、復元はできません。その内容の補償についてはご容赦ください。

● DVD レコーダーやビデオデッキなどで録画・録音を行ったものは、個人鑑賞のみお楽しみいただけます。著作権法上権利者に無断で使用する事は禁止されています。

●地上デジタル放送はコピー制御されています。
制御に関する一般的な内容は（社）デジタル放送推進協会 (Dpa) のホームページをご覧ください。　http://www.dpa.or.jp/

●ラジオやテレビに近づけて使わない。
この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。　VCCI-B

# 各部の名称 / 機能

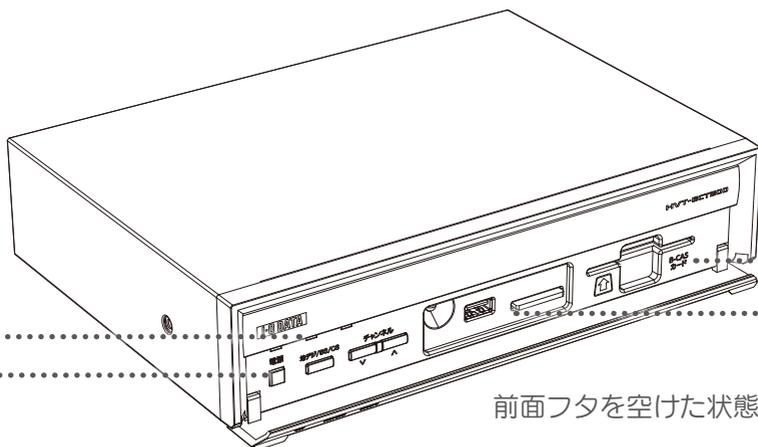
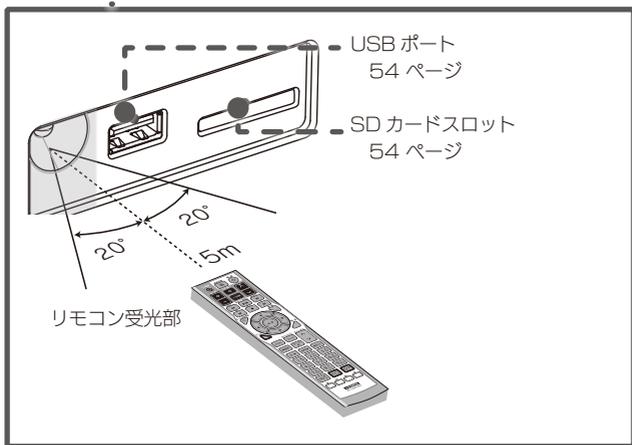
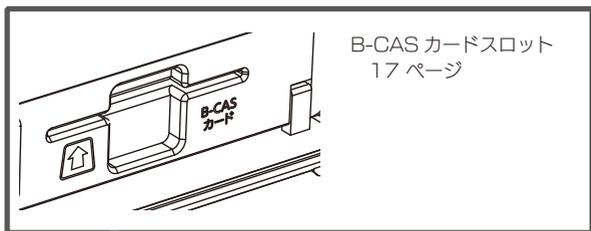
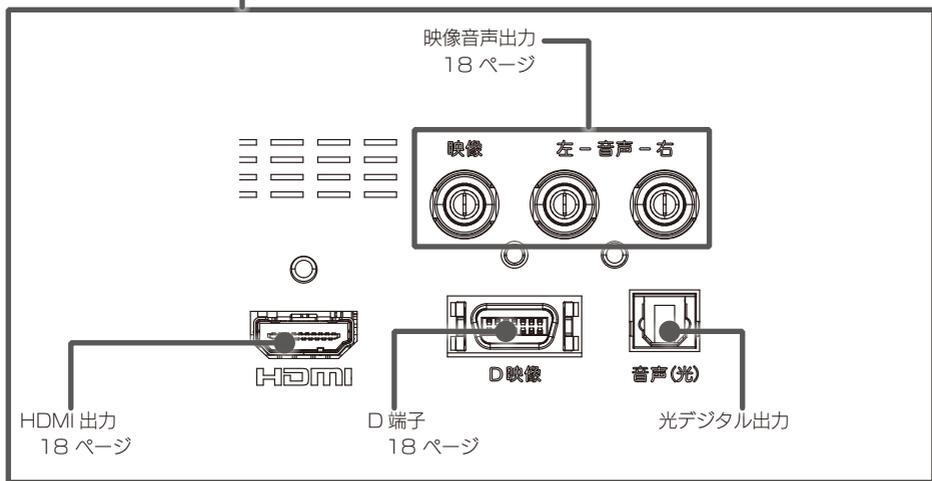
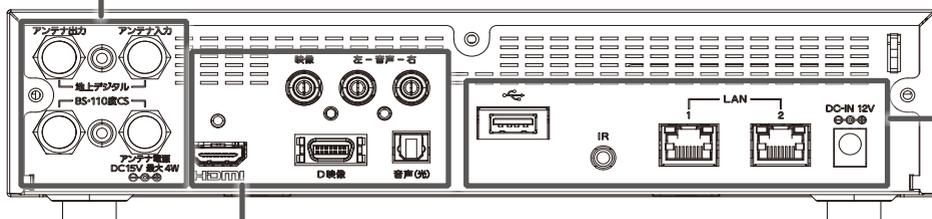
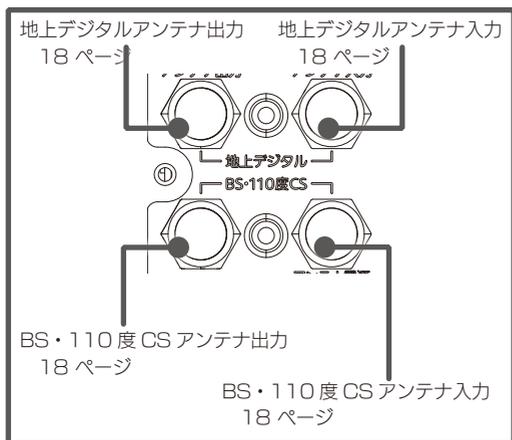
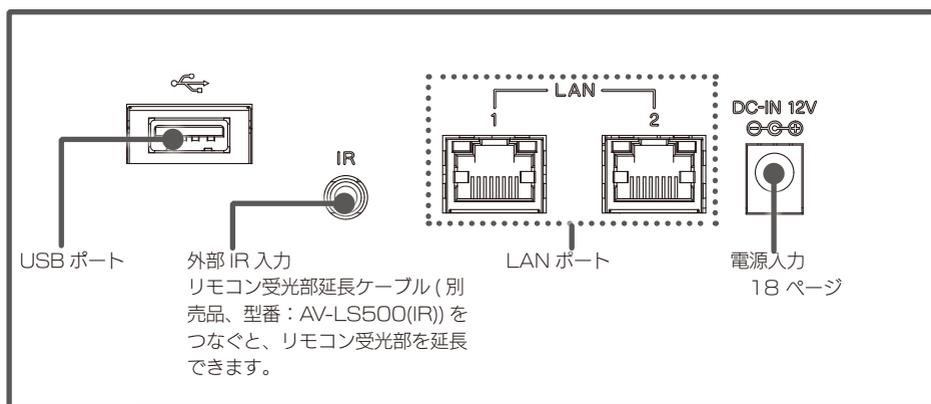
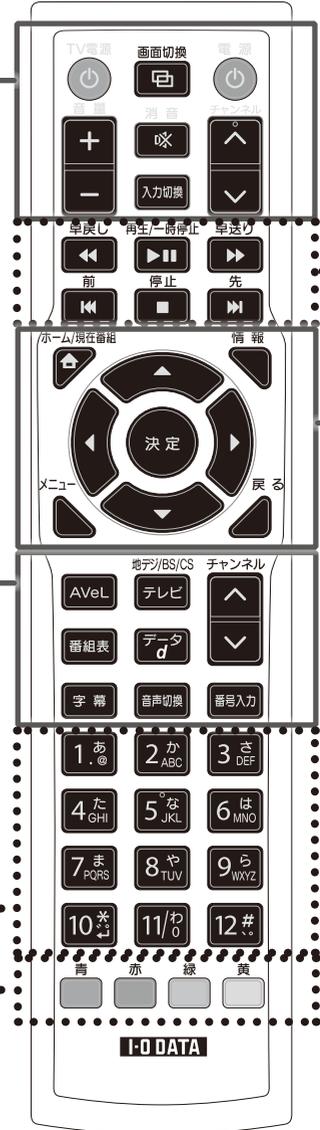
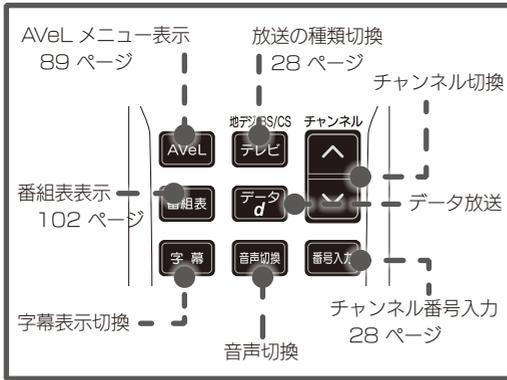
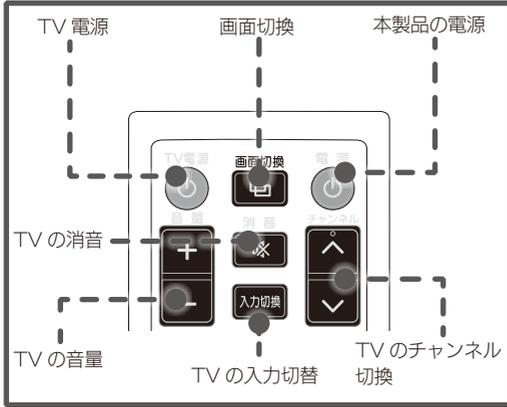
## 本体・前面

B-CAS カードスロット
17 ページ
B-CAS
カード
USB ポート
54 ページ
SD カードスロット
54 ページ
20°
20°
5m
リモコン受光部

## 本体・背面

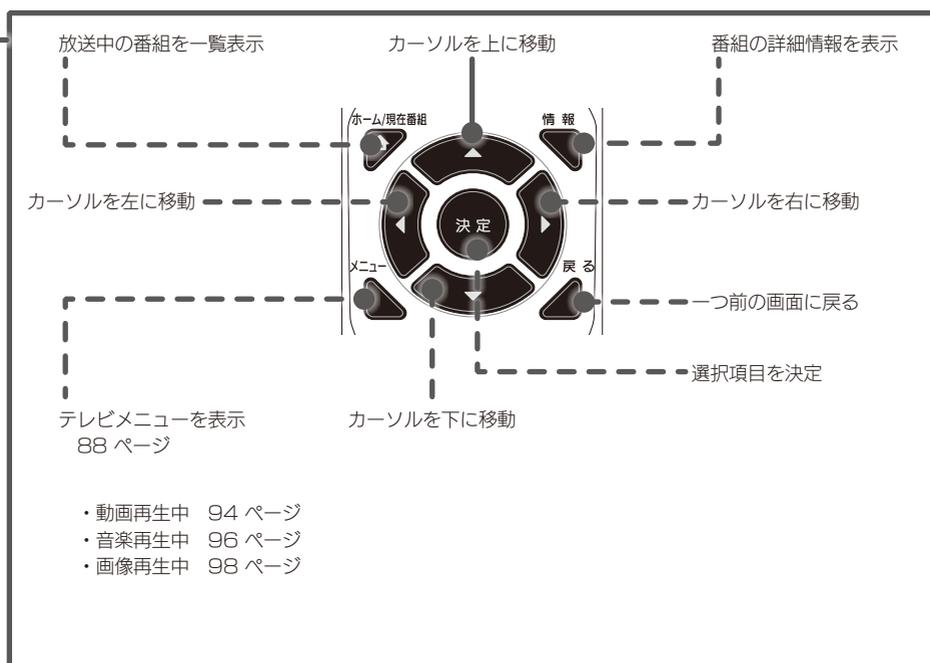
地上デジタルアンテナ出力
18 ページ
地上デジタルアンテナ入力
18 ページ
地上デジタル
BS･110度CS
BS・110 度 CS アンテナ出力
18 ページ
BS・110 度 CS アンテナ入力
18 ページ
アンテナ出力
アンテナ入力
アンテナ電源
DC15V 最大 4W
映像
左 − 音声 − 右
HDMI
D映像
音声(光)
LAN
1
2
IR
DC-IN 12V
映像音声出力
18 ページ
HDMI 出力
18 ページ
D 端子
18 ページ
光デジタル出力

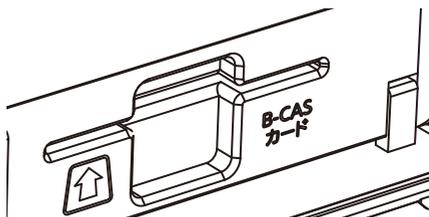
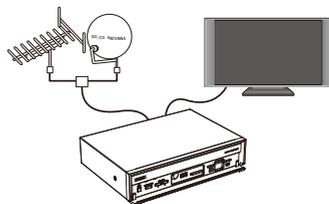
LAN
1
2
DC-IN 12V
IR
USB ポート
外部 IR 入力
リモコン受光部延長ケーブル ( 別売品、型番：AV-LS500(IR)) をつなぐと、リモコン受光部を延長できます。
LAN ポート
電源入力
18 ページ

## リモコン

TV 電源
画面切換
本製品の電源
TV の消音
TV の音量
TV の入力切替
TV のチャンネル切換
AVeL メニュー表示 89 ページ
放送の種類切換 28 ページ
チャンネル切換
番組表表示 102 ページ
データ放送
字幕表示切換
音声切換
チャンネル番号入力 28 ページ
数字や文字入力、チャンネル選局に使用
画面上の指示に応じて使用
TV電源
画面切換
電源
音量
消音
チャンネル
入力切換
早戻し
再生/一時停止
早送り
前
停止
先
ホーム/現在番組
情報
決定
メニュー
戻る
地デジ/BS/CS
AVeL
テレビ
番組表
データ
字幕
音声切換
番号入力
青
赤
緑
黄
I·O DATA

視聴や再生時の基本操作

・動画再生中　94 ページ
・音楽再生中　96 ページ
・画像再生中　98 ページ
・ISO ファイル再生中　100 ページ

# 手順

本製品でテレビを見るためには、以下を順に設定してください。

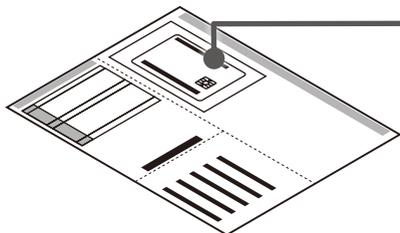
① B-CAS カードをセットする
（17 ページ）

② 設置する（18 ページ）

③ リモコンを準備する（21 ページ）

④ はじめの設定をする（23 ページ）

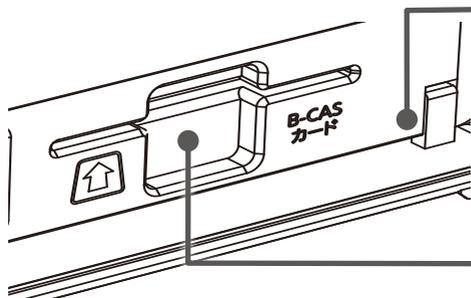
これでテレビが見られます。

# ① B-CAS カードをセットする



**1**

**B-CAS カードを取り出す**

B-CAS カードの紙面を読んでから取り出してください。

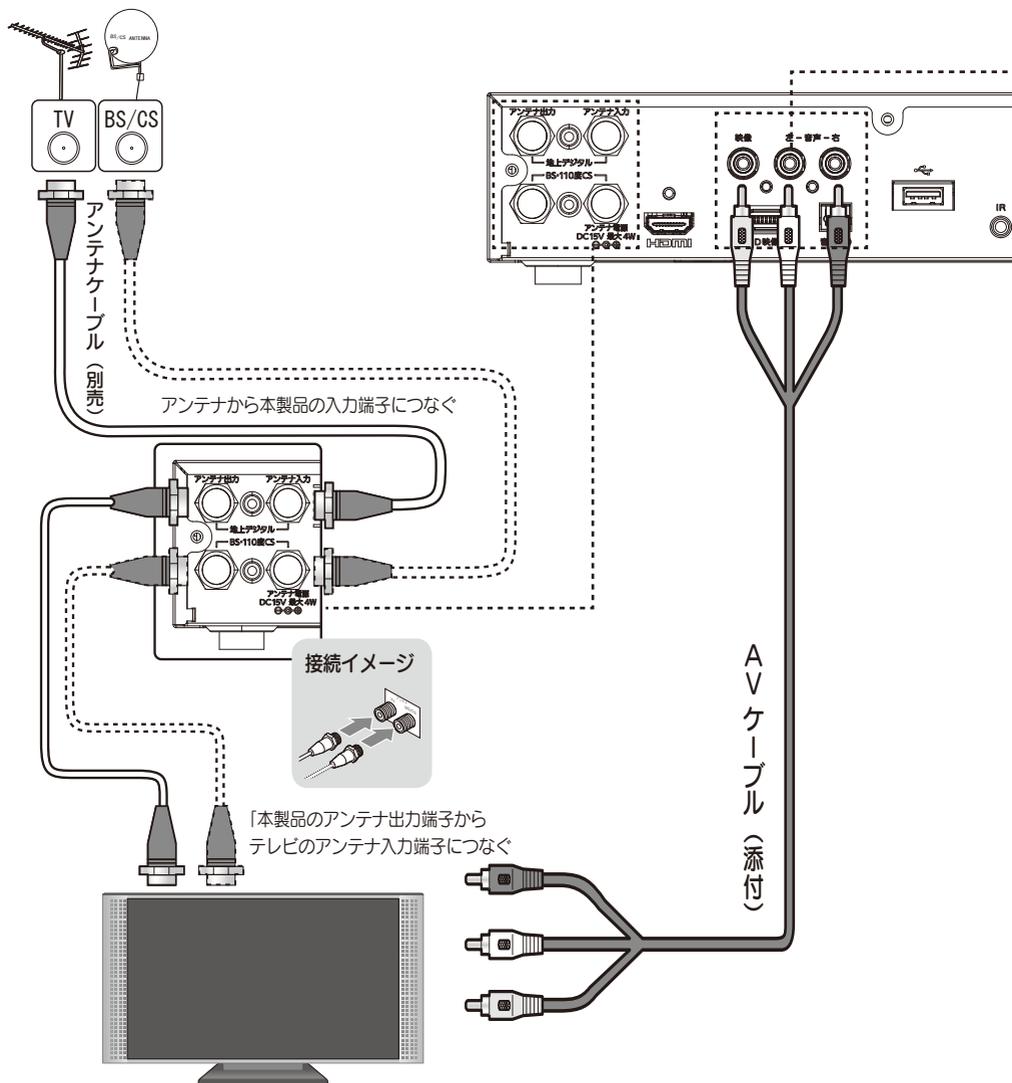
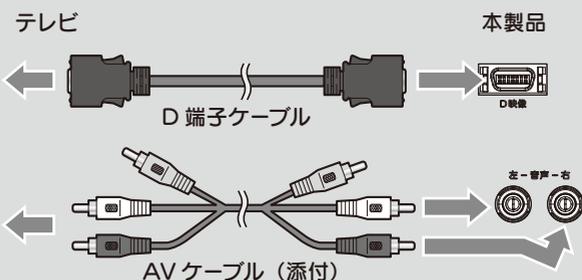
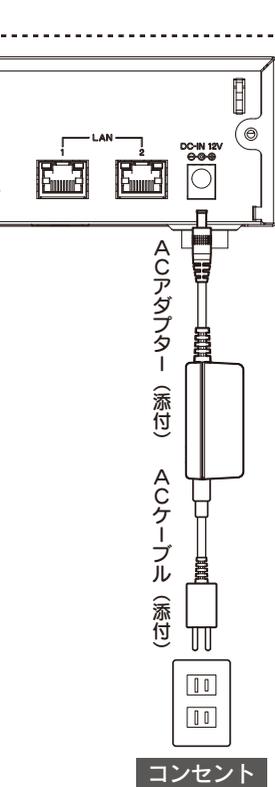
**2**

**①カバーを開く**

**② B-CAS カードをセットする**

向き、表裏を確認します。
無理矢理押し込んだ場合は破損・故障の原因となります。

# ②設置する

※地デジアンテナについて
　アンテナが地デジ（UHF アンテナ）に対応しているかご確認ください。UHF アンテナでも方向の調整が必要な場合もあります。ご不明の場合はお近くの電気店等にご相談ください。CATV の場合「パススルー環境」であればご覧いただけます。共同アンテナの場合は保守・管理業者に地デジ対応していることをご確認ください。

※衛星アンテナについて
　既に BS 衛星放送対応アンテナをお持ちの場合は、そのままご利用頂けます。CATV の場合は『BS パススルー環境』であればご覧いただけます。分波器を使用して地上デジタルと BS デジタルの双方へ接続してください。

※ HDMI、D 端子は同時に使うことはできません。
いずれか 1 つの端子につないでください。
（D端子とコンポジット端子は同時に出力できます。）

アンプ、スピーカーとつなぐ

音声（光）と音響機器を光デジタルケーブル（別途用意）でつなげられます。

Rovi( 旧 Macrovision) 著作権保護機能について

1. “If degraded picture quality is observed while viewing copy-protected VOD movies connect the set-top box directly to the TV set. Do not connect through a VCR.”
2. “Do not connect the unit through a VCR. Video signals fed through VCRs may be affected by copyright protection systems and the picture will be distorted on the television.”
   or
3. “Connecting your TV directly to the Audio/Video output of your Set-Top-Box will assure a more vivid picture and enhance your viewing enjoyment.”

著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。 また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。 著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。

## アナログ RGB 端子でつなぐ場合

本製品の D 端子とパソコンのアナログモニターを弊社製品 MA-D2A を利用してつなぎます。

オーディオケーブル（市販品）

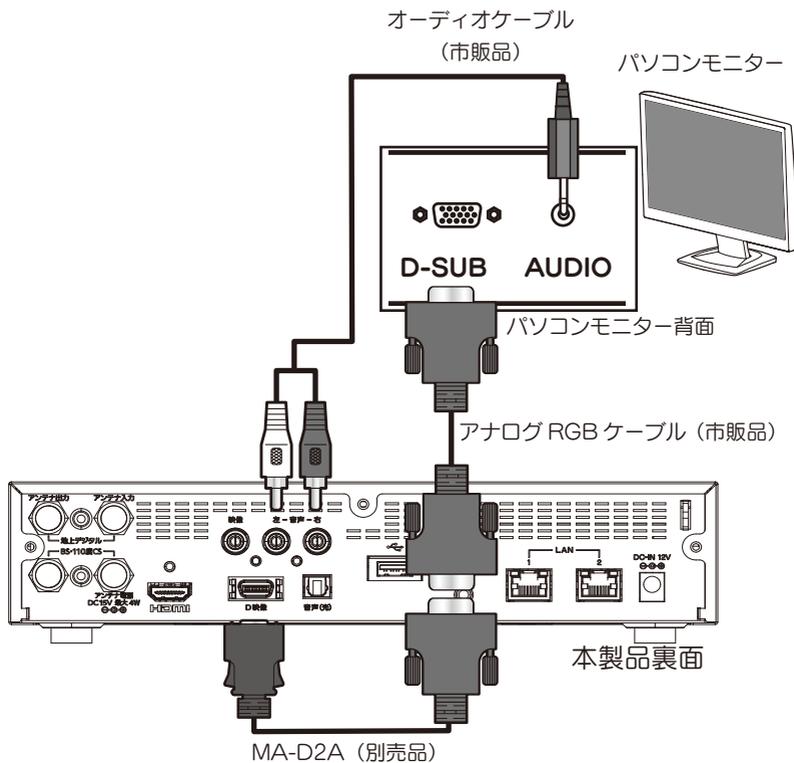
パソコンモニター

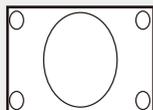
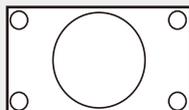
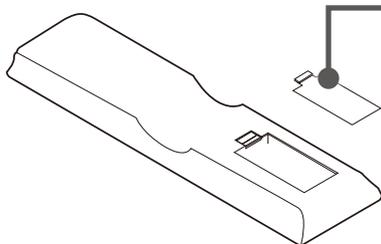
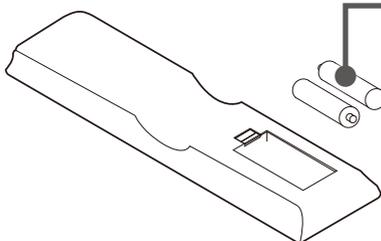
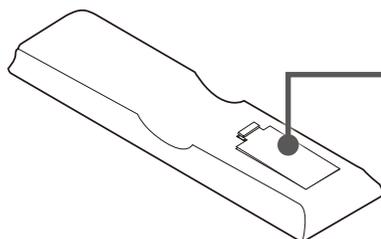
D-SUB AUDIO

パソコンモニター背面

アナログ RGB ケーブル（市販品）

本製品裏面

MA-D2A（別売品）

**注意**

・他の映像端子（コンポジットや HDMI）と併用することはできません。
・アナログモニターに出力する映像の解像度は 800 × 600 の固定となります。
※お使いのアナログモニターのズーム機能やワイド機能などで、最適な表示になるように設定してください。
・アナログモニターに出力する映像のアスペクト比は 16：9 の固定となります
※スクエアタイプのモニターの場合は、若干縦に長く映像が表示されます。
ケーブルの色を間違えないように注意して接続してください。

スクエアモニターに出力した場合

ワイドモニターに出力した場合

# ③リモコンを準備する

**注意　電池の取り扱い**

・添付の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
・単四形乾電池以外を使わないでください。
・交換の際は、二本とも新しい電池にしてください。

## ③リモコンを準備する

### 4 本製品のリモコンでテレビの操作をできるようにします。

TV電源 を押しながら 3 桁の番号を入力する

※ 0 の入力は 11/わ/0 で行います。
※ お使いのテレビメーカー欄が複数ある場合は、最初の番号から順に入力します。

※ 下表にないテレビは、本製品のリモコンで操作できません。
※ この設定はリモコンをテレビに向けて行う必要はありません。
※ 複数の番号があるメーカーの場合は、前の番号から試してください。
　動作しない場合は、次の番号を試してください。
※ 一部、動作しないテレビもあります。
　動作しない場合は、お使いのテレビに付属のリモコンを使用してください。
※ テレビを買い換えた際は、買い換え後のテレビに合わせて、もう一度設定してください。
※ 初期値は、「000」が設定されています。「000」の場合、テレビに関するボタンは動作しません。
※ 「070」は、当社 HDMI リンク機能対応液晶ディスプレイ
　「LCD-MF222X シリーズ、LCD-MF231X シリーズ（別売品）」用の番号です。
「070」に設定した場合は、以下のようにお使いください
　・本製品の映像・音声設定より、HDMI リンク機能を「有効」に設定してください。
　・設定後のテレビの操作は、リモコンを本製品のリモコン受光部に向けてください。

| メーカー | 番号 | メーカー | 番号 | メーカー | 番号 | メーカー | 番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| I-O DATA1 | 031 | ビクター 1 | 015 | パイオニア 1 | 032 | LG 電子 1 | 047 |
| I-O DATA2 | 070 | ビクター 2 | 016 | パイオニア 2 | 033 | LG 電子 2 | 048 |
| SONY1 | 001 | ビクター 3 | 017 | NEC 1 | 034 | LG 電子 3 | 049 |
| SONY2 | 002 | 三洋 1 | 018 | NEC 2 | 035 | LG 電子 4 | 050 |
| Panasonic 1 | 003 | 三洋 2 | 019 | FUNAI 1 | 036 | LG 電子 5 | 051 |
| Panasonic 2 | 004 | 三洋 3 | 020 | FUNAI 2 | 037 | LG 電子 6 | 052 |
| SHARP 1 | 005 | 三洋 4 | 021 | FUNAI 3 | 038 | LG 電子 7 | 053 |
| SHARP 2 | 006 | 三菱 1 | 022 | FUNAI 4 | 039 | Philips 1 | 054 |
| SHARP 3 | 007 | 三菱 2 | 023 | FUNAI 5 | 040 | Philips 2 | 055 |
| 日立 1 | 008 | 三菱 3 | 024 | FUNAI 6 | 041 | Philips 3 | 056 |
| 日立 2 | 009 | 三菱 4 | 025 | SAMSUNG 1 | 042 | AIWA 1 | 057 |
| 日立 3 | 010 | 富士通 1 | 026 | SAMSUNG 2 | 043 | AIWA 2 | 058 |
| 日立 4 | 011 | 富士通 2 | 027 | SAMSUNG 3 | 044 | AIWA 3 | 059 |
| 東芝 1 | 012 | 富士通 3 | 028 | SAMSUNG 4 | 045 | バイ・デザイン | 060 |
| 東芝 2 | 013 | 富士通 4 | 029 | SAMSUNG 5 | 046 | | |
| 東芝 3 | 014 | 富士通 5 | 030 | | | | |

### 設定操作例（テレビが日立製の場合）

右表の日立欄（日立 1）の数字（008）を入力します。
0 は 11/わ/0 で入力します。入力したら、リモコンをテレビに向けて、以下利用できるボタンの操作をお試しください。
反応しない場合は、同じメーカーの別の番号をお試しください。
それでも認識できない場合、以下操作についてはテレビのリモコンをお使いください。

### 利用できるボタン

テレビを右のボタンで操作できます。

# ④初期設定をする

**1**

① 電源 を押す

本製品の電源が入ります。

② TV電源 を押す

テレビの電源が入ります。
※電源が入らないときは、テレビのリモコンで電源を入れてください。

**2**

本製品の映像がテレビに表示されるまで 入力切換 を何回か押す

本製品の映像がテレビに表示されます。
※入力切換ができないときは、テレビのリモコンの入力切換ボタンで切り換えてください。

**3**

［次へ］を選び、決定 を押す

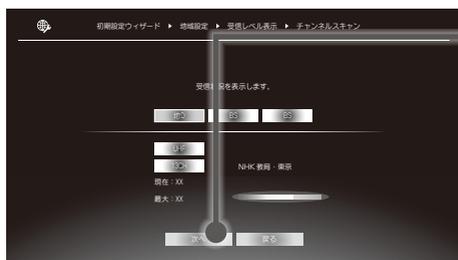
# ④初期設定をする

**4**

入力にはリモコンの数字ボタンを使います。
0 は 11/わ/0 で入力します。

カーソルの左右で地域を選びます。

**5**

**6**

ケーブルテレビを利用している場合は［全周波数帯］を選ぶ

**7**

① チャンネルを確認する

**注意**　正しくチャンネルが表示されない

105 ページの【地デジ放送局が登録されない】をご覧ください。

② ［はい］を選び、決定を押す

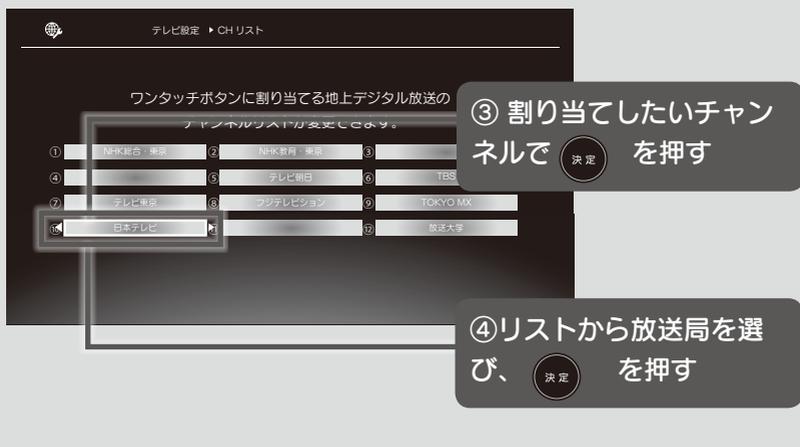
テレビが表示されます。

**以上で、初期設定は完了です。**

### 衛星アンテナへの電源供給

本製品は、衛星アンテナに電源を供給しています。
共同アンテナなどで電源の供給が必要ない場合は、電源の供給を止めることができます。
メニューの［受信設定］－［アンテナ通電設定］で切り換えてください。
（88 ページ）

# ④初期設定をする

## 参考：リモコンボタンの放送局の割り当てを変更する場合

# テレビを見る

**1**

**① 電源を押す**

本製品の電源が入ります。

**② TV電源を押す**

テレビの電源が入ります。

※電源が入らないときは、テレビのリモコンで電源を入れてください。

**2**

**本製品の映像がテレビに表示されるまで 入力切換 を何回か押す**

本製品の映像がテレビに表示されます。

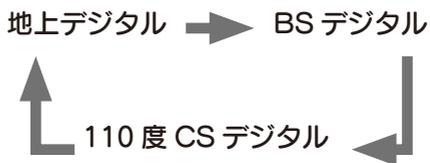
※入力切換ができないときは、テレビのリモコンの入力切換ボタンで切り換えてください。

# チャンネルを選ぶ

**1**

**地デジ/BS/CS テレビ を押す**

放送波を切り換えます。
以下の順に切り換わります。

地上デジタル → BS デジタル → 110 度 CS デジタル → 地上デジタル

**2**

**1.あ@ ～ 12# を押してチャンネルを選ぶ**

放送局をワンタッチで選ぶことができます。

**チャンネル番号（3 桁）を入力するときは**

① 番号入力 を押す。

② 1.あ@ ～ 11/わ0 を押してチャンネル番号（3 桁）を入力する。

※「0（ゼロ）」は 11/わ0 を押します。

# 番組表を見る

## 現在番組表を見る

**1**

 **を押す**

各放送局の現在の番組表が表示されます。
もう一度 ホーム/現在番組 を押すと閉じられます。

**2**

 **を押して放送局を選び、**  **押す**

番組表が閉じられ、番組が表示されます。

# 番組表を見る

**1**

**番組表 を押す**

見ている放送局の番組表が表示されます。

**2**

**を押して番組を選ぶ**

**決定 を押して選んだ番組の情報を見る**

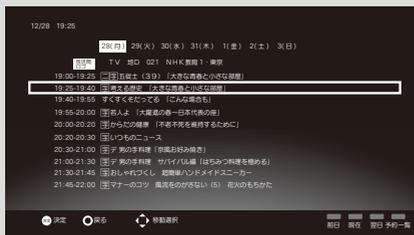
**番組表 を押して放送波を切り換える**

**（青）　前日の番組表を表示する**

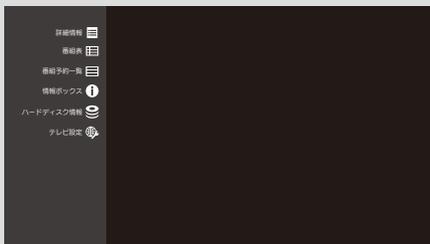
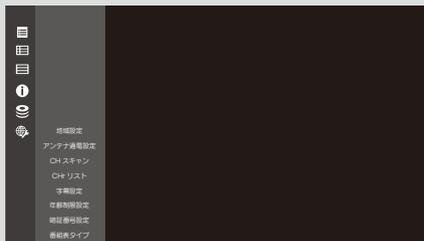
**（赤）　現在の番組表を表示する**

**（緑）　翌日の番組表を表示する**

**（黄）　予約一覧を表示する**

## 参考：番組表の表示タイプを変更する場合

リストタイプ

新聞テレビ欄タイプ

①テレビを視聴している状態でリモコンの「メニュー」ボタンを押します。

②「テレビ設定」を選びます。

③「番組表タイプ」を選択します。

④番組表を選び、「戻る」を押します。

# その他の操作

## 番組の情報を見る

**決定 を押す**

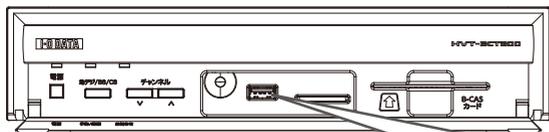
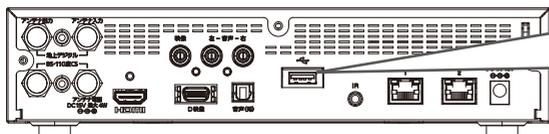
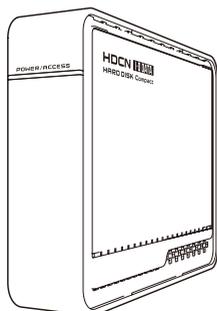
見ている番組の情報が表示されます。（約5秒間）

## 字幕を表示する

**字幕 を押す**

もう一度 字幕 を押すと字幕は停止します。

## データ放送をみる

［データ d］を押します。再度押すと消えます。

# HDD をつなぐ

USB HDD（市販品）

**取り外す場合**

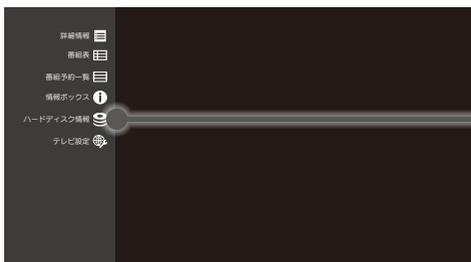
・予約がある場合は、取り外さないでください。予約情報も録画用 HDD に保存されています。
・ハードディスクにアクセス中には取り外さないでください。

※ USB HDD は USB 2.0 に対応しているものをお使いください。
※ 録画に使う USB HDD は 1 台のみ つなぐことができます。
※ 動作確認済み HDD は弊社ホームページをご覧ください。　http://www.iodata.jp/

# HDD を録画用に設定する



つないだ USB HDD はそのままでは録画に使えません。
録画用 HDD に設定する必要があります。
録画用 HDD に設定すると、HDD 内のデータはすべて消え、パソコンで使うことができなくなります。あらかじめご了承ください。

# HDD を録画用に設定する

**4**

**［OK］を選び、決定を押す**

初期化が開始されます。

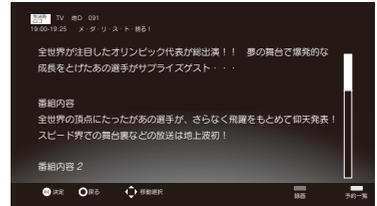
### 初期化に掛かる時間

| 容量 | 所要時間 |
| --- | --- |
| 320GB | 約 1 分 30 秒 |
| 500GB | 約 2 分 30 秒 |
| 1TB | 約 5 分 |
| 2TB | 約 10 分 |

**初期化が終わると、各値が表示される**

使用領域や録画可能時間が表示されます。

リモコンの 戻る ボタンを押して画面を閉じます。

# 見ている番組を録画する

### 途中で録画を止める

リモコンの 停止 ■ を押します。
確認画面が表示されたら、［OK］を選び、決定 を押します。
これで録画が停止されます。

### 録画できる時間を確認する

リモコンの メニュー を押します。
メニューが表示されたら、［ハードディスク情報］選び、決定 を押します。
表示されたハードディスク情報画面で「録画可能時間」を確認します。

# 録画予約する

## 番組表から予約をする

テレビを視聴している状態で 番組表 を押す

番組表が表示されます。

録画する番組を選び、決定 を押す

番組詳細画面が表示されます。

［録画する］を選び 決定 を押す

予約録画の設定をします。

## 番組延長録画について

番組延長を「する」に設定して予約すると、スポーツ中継など録画予約した番組が延長になっても、最後まで録画します。
録画予約した番組の放送時刻が遅れても、開始時刻を自動的に調整して録画します。

注意

- 番組延長により録画時間が重なった場合は、先に録画している番組を優先します。
- 繰り返し録画（毎回設定）には対応していません。
- 番組延長機能を「する」と設定した場合は番組情報で、「しない」に設定した場合は指定した予約時刻で録画管理されます。
  そのため、「する」で設定した場合、番組データの更新タイミングなどによって、ごくまれに録画 に失敗することがあります。
- 予約した番組が録画できない場合の補償は一切出来ませんので、あらかじめご了承ください。

## 繰り返し録画する

指定した時間帯とチャンネルを繰り返し録画します。

毎回設定を､「毎日」「毎週」「毎週 ( 月～木 )」「毎週 ( 月～金 )」「毎週 ( 月～土 )」から選択します。
※番組延長設定には対応していません。

## 録画予約の手動設定・編集（予約編集）して録画する

チャンネル、日付、予約時刻、番組タイトルなどを自分で指定して録画予約できます。

**1**

**2**

予約一覧画面が表示されます。

**3**

「新規予約」を選びます。

4

## 予約録画の日時を設定します。

・６週間先まで指定できます。
・特定の日のほかに「毎日」「毎週」「月～金」「月～土」などが選べます。
・設定できる時間は 24 時間（23 時間 59 分）です。

### 番組延長録画する

番組延長を「する」に設定します。
※番組延長により、録画時間が重なった場合は、先に録画している番組を優先します。
※繰り返し録画（毎回設定）には対応していません。

### 繰り返し録画する

毎回設定を､｢毎日｣｢毎週｣｢毎週 ( 月～木 )｣｢毎週 ( 月～金 )｣｢毎週 ( 月～土 )｣から選択します。
※番組延長設定には対応していません。

## 連ドラ予約する

**1**

テレビを視聴している状態で 番組表 を押す

番組表が表示されます。

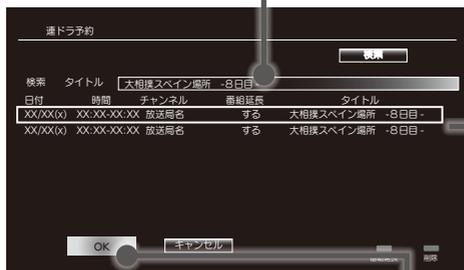
**2**

録画する番組を選び、決定 を押す

番組詳細画面が表示されます。

**3**

［連ドラ予約］を選び 決定 を押す

**3**

自動的に番組表の番組タイトルを元に検索キーワードが表示されます。

このリストのうち、予約しない番組はその番組を選び、「削除【赤】」を押します。
※番組延長は、初期値では「する」に設定されています。
番組延長を「しない」場合は、「番組延長【青】」を押します。

［OK］を選び
決定 を押す

### 番組延長しないようにする。

リモコンの を押し、番組延長する番組を選びます。
青 を押し、「しない」にします

### 予約しない番組をリストから削除する

リモコンの を押し、削除する番組を選びます。
赤 を押します

### 別のキーワードで探す

検索タイトル（キーワード）を変更することにより、よりお好みにあった検索で予約登録することができます
（検索タイトルのキーワードで検索される対象は、選択されている１つのチャンネルに対してのみです）。
①検索キーワードを選び、[ 決定 ] を押します。
②新しいキーワードを入力します。
③ [ 検索 ] ボタンを押します。

# 予約を確認 / 削除する

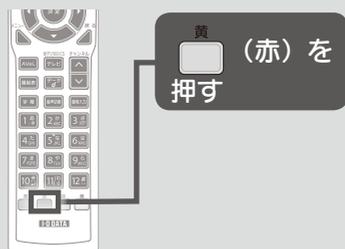
予約の確認と削除は、両方とも録画予約一覧で行います。

## 予約一覧画面

アイコン

| | | | |
|---|---|---|---|
| 毎 日 | 毎日録画します。 | 毎日(月-木) | 月曜～木曜の毎日録画します。 |
| 毎 週 | 毎週録画します。 | 毎日(月-金) | 月曜～金曜の毎日録画します。 |
| 連ドラ予約 | 特定の番組を自動的に録画します。 | 毎日(月-土) | 月曜～土曜の毎日録画します。 |
| 録画失敗 | 何らかの原因により録画が失敗しました。 | | |

### 予約を削除する

削除したい予約を選び、赤（赤）を押します。
これで選んだ予約が削除されます。

# 録画番組を再生 / 削除する

録画番組の再生と削除は、両方とも録画番組リストで行います。

1

AVeL を押す。

AVeL メニューが表示されます。

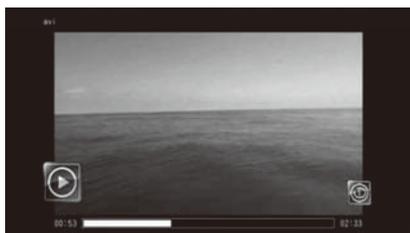
2

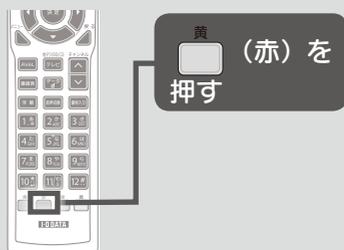
［録画番組］を選び、
決定 を押す

録画番組リストが表示されます。

3

再生したい番組を選び、
決定 を押す

録画番組が再生されます。

## 録画番組を削除する

削除したい番組を選び、赤（赤）を
押します。
これで選んだ番組が削除されます。

## 再生していない番組

再生していない番組には「New」のマークが表示されます。

## 再生中の画面と操作

再生中の画面や操作については、【画面のようす】(94 ページ)をご覧ください。

## 再生を中断する

再生中に 停止 を押すと、再生を中断します。
次に同じ番組を再生した場合、前回中断したところから再生されます。

※ 最初から再生したい場合は、前 を押します。

## 再生時の字幕表示や音声切換は非対応です

再生中には字幕表示や音声切換を行えません。

## 追いかけ再生

録画中の番組も再生できます。

# 録画番組を配信する

本製品で録画した番組は、本製品と同じホームネットワークに接続されている DTCP-IP 対応機器で再生することができます。
本製品をルータなどホームネットワークに接続し、お持ちの DTCP-IP 機器を本製品を接続した同じホームネットワークに接続し、DTCP-IP 対応機器から再生操作をしてお楽しみください。
本製品のホームネットワークへの接続は、「ネットワークにつなぐ」(115 ページ)をご参照ください。
再生操作につきましては、DTCP-IP 機器の取扱説明書をご確認ください。

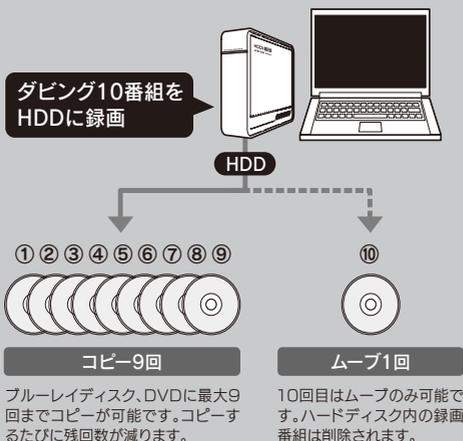
・本製品の録画用ハードディスクの配信機能（メディアサーバー機能）は録画用ハードディスクがつながれていれば自動的に起動しますので、設定操作は必要ありません。
・録画用ハードディスクとは別に、USB ハードディスクに保存したビデオや写真の配信は、57 ページをご覧ください。

**注意　配信時の注意**

※録画中、コンテンツ再生中、ファームウェアアップデート中は録画番組を配信することができません。
※録画番組の配信機能は手動で停止することはできません。
※スタンバイ状態時 USB 電源供給をしない設定にしている場合、本製品を待機状態にしたとき、配信機能（メディアサーバー機能）は停止します。
本製品が待機状態にしている時でも配信したい場合は、スタンバイ状態の USB 電源供給をする設定にしてください。
USB 電源供給の設定方法は、91 ページ参照

# 録画番組をダビングする

本製品で録画した番組（録画用ハードディスク）から、本製品と同じホームネットワーク上に接続している DTCP-IP 対応ネットワークハードディスクや DTCP-IP 対応 HDD レコーダー等へダビング（コピー／ムーブ）することができます。
また、DTCP-IP 対応ネットワークハードディスクや DTCP-IP 対応 HDD レコーダー等に録画保存されている番組を、本製品の録画用ハードディスクにダビングすることもできます。

参考　ダビング 10 とは

**注意　ダビング時の注意**

※ダビング時間は、録画番組の時間と等倍の時間がかかります。
※ダビング中は、他の操作を行うことが出来ません。
※スカパー HD のレイティングコンテンツはダビングすることができません。
※コピーネバーの録画番組はダビングすることができません。

## ダビング送信（コピー／ムーブ）する

本製品で録画した番組を、他の DTCP-IP 対応機器へダビングします。

**1**

AVeL を押す。

AVeL メニューが表示されます。

**2**

テレビ　録画番組　メディアサーバー設定　設定
ホームネットワーク　外部ストレージ　ファイル共有　カメラプレーヤー
TSUTAYA TV　アイ・オー・ポータル　アクトビラ

［録画番組］を選び、決定を押す

録画番組リストが表示されます。

**3**

ダビングしたい番組を選び、黄（黄）を押す

※ダビング可能な回数がアイコンで表示されます。
※ダビング回数が 0 の場合、録画番組をダビング後、ハードディスク内の録画番組は削除されます。

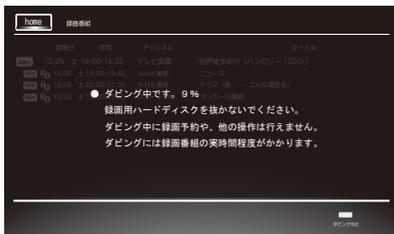
**3**

**4**

home
ダビング先指定
ダビング先を指定してください。
I-O DATA LANDISC 1
I-O DATA LANDISC 2
「12/26 土 19:00-19:25 テレビ武蔵 世界徒歩紀行「ハンガリー（200）」
をダビングしますか？（ダビング中に録画予約や、他の操作は行えません。）
OK

［OK］を選び
決定 を押す

home
録画番組
ダビング中です。9％
録画用ハードディスクを抜かないでください。
ダビング中に録画予約や、他の操作は行えません。
ダビングには録画番組の実時間程度がかかります。
ダビング中止

home
録画番組
ダビングが完了しました。

## ダビングを中止する

ダビング中に、黄（黄）を押します。

※ダビングを中止しても、コピー可能残数は減少しません。

## ダビング受信（コピー／ムーブ）する

他の DTCP-IP 対応機器に録画保存されている番組を、本製品の録画用ハードディスクにダビングします。

**1**

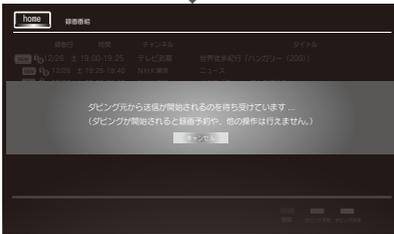
AVeL を押す。

AVeL メニューが表示されます。

**2**

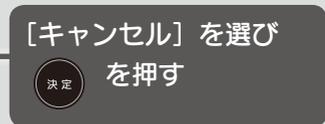
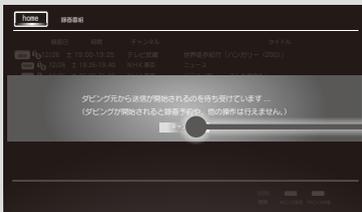
［録画番組］を選び、
決定 を押す

録画番組リストが表示されます。

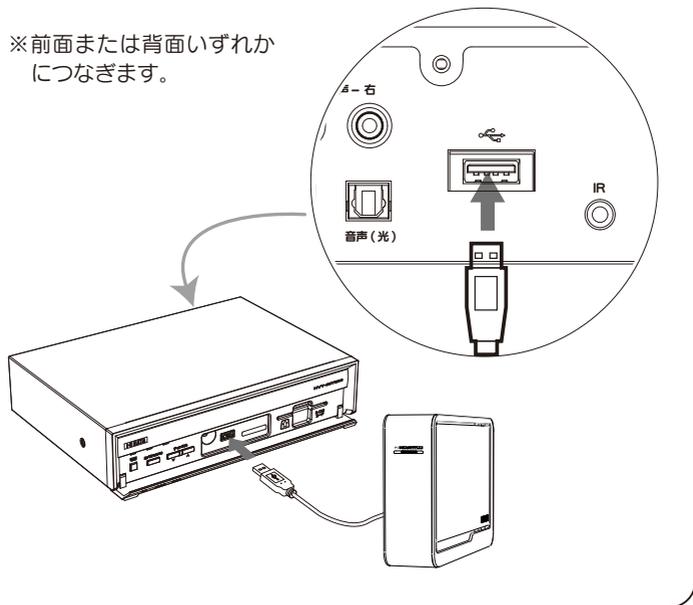
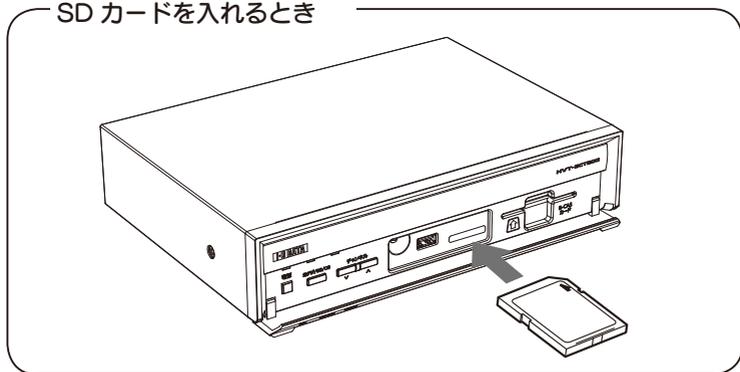
**3**

本製品がダビング受信の待ち状態になります。

**4** DTCP-IP 対応機器側でダビング（送信）する操作をしてください。
操作方法は機器側の説明をご覧ください。

受信に失敗したときは、本製品側のメッセージをリモコンの戻るボタンを押して消し、リモコンの緑ボタンを押してダビング受信する状態にしなおしてください。

## 待ち受けを中止する

# HDD/SD カードをつなぐ

再生したいビデオや写真データが入っているハードディスク、USB メモリー、SD カードなどをつなぎます。

## USB ハードディスク、USB メモリーをつなぐとき

## SD カードを入れるとき

**本製品のＵＳＢ端子にマルチカードリーダーをさした場合**

マルチカードリーダーに挿した SD カードなどを抜き差しする場合は、一度、製品本体からカードリーダーを抜いてから行ってください。

※ USB 機器や SD カードの仕様、データのフォーマット形式によっては再生できない場合があります。

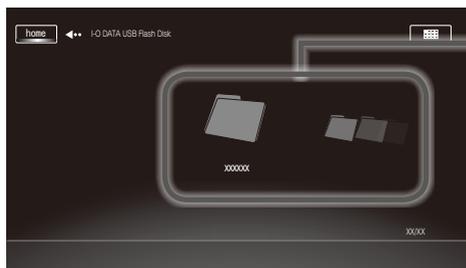
※機器の認識までには時間がかかることがあります。

# HDD/SD カードのデータを再生する



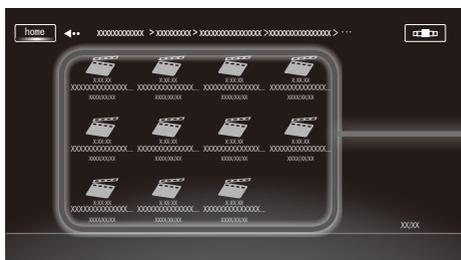
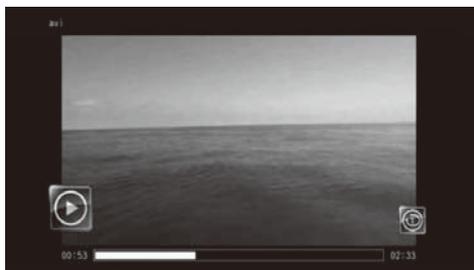
**1** AVeL を押す

AVeL メニュー画面が表示されます。

**2** [ 外部ストレージ ] を選び 決定 を押す

**3** フォルダを選び 決定 を押す

複数の外部ストレージを接続しているときは、再生したいデータが入っている機器を選んでください。

# HDD/SD カードのデータを再生する

**4**

データを選び 決定 を押す

選んだデータが再生されます。

### 順番に再生したいときは

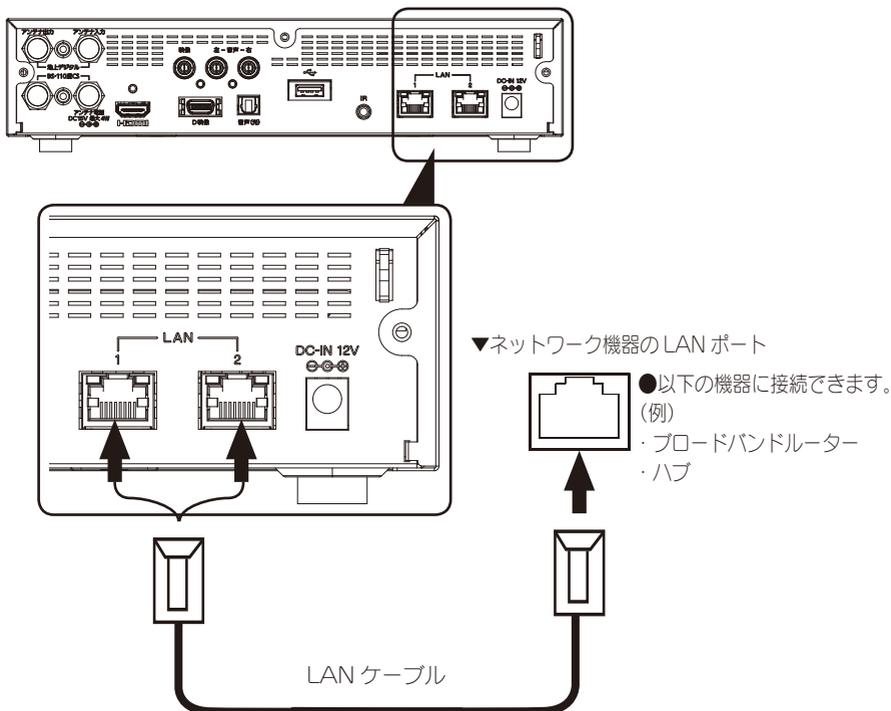
決定 の代わりに 再生/一時停止 を押すと、選んだデータから順に再生します。
画像データの一覧で 再生/一時停止 を押すと、スライドショー再生になります。

### 再生中画面について

再生中画面の情報、再生中画面でのボタン操作については、【画面のようす】(94 ページ)をご覧ください。

# HDD のデータを配信する

ＨＤＤのデータを配信するにはネットワークに接続してある必要があります。

## ネットワークにつなぐ

LAN
1
2
DC-IN 12V

▼ネットワーク機器の LAN ポート

●以下の機器に接続できます。
（例）
・ブロードバンドルーター
・ハブ

LAN ケーブル

**ネットワーク機器について**

・ルーターの DHCP 機能（IP アドレスを自動的に割りあてる）は、「有効」で使用することをおすすめします。

・ルーターのセキュリティー設定によっては本製品からのインターネット接続を遮断する場合があります。ルーターの取扱説明書をご確認ください。

**LAN ポートについて**

余った片方の LAN ポートは、ネットワーク機能付きのテレビなどにつなぐことができます。

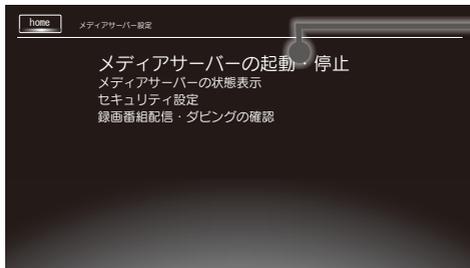
## 本製品の配信機能（メディアサーバー機能）を起動する

ホームビデオや写真データを保存した一般用ハードディスク内のデータをホームネットワーク上に接続している DLNA 対応ネットワークメディアプレーヤーで再生することができます。
ご利用になる前に、メディアサーバー設定（92 ページ）でメディアサーバー機能を設定してください。

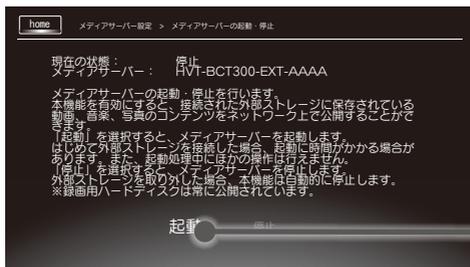
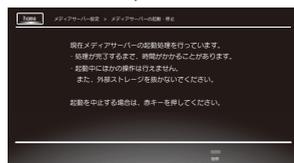
**1** 製品の電源をいれます。

**2** AVeL を押す

AVeL メニュー画面が表示されます。

**3**

**4** ［メディアサーバーの起動・停止］を選び 決定 を押す

home　メディアサーバー設定

メディアサーバーの起動・停止
メディアサーバーの状態表示
セキュリティ設定
録画番組配信・ダビングの確認

**5** ［起動］を選び 決定 を押す

**6** DLNA 対応ネットワークメディアプレーヤー側で再生する操作をしてください。操作方法は機器側の説明をご覧ください。

## メディアサーバーの起動を中止する

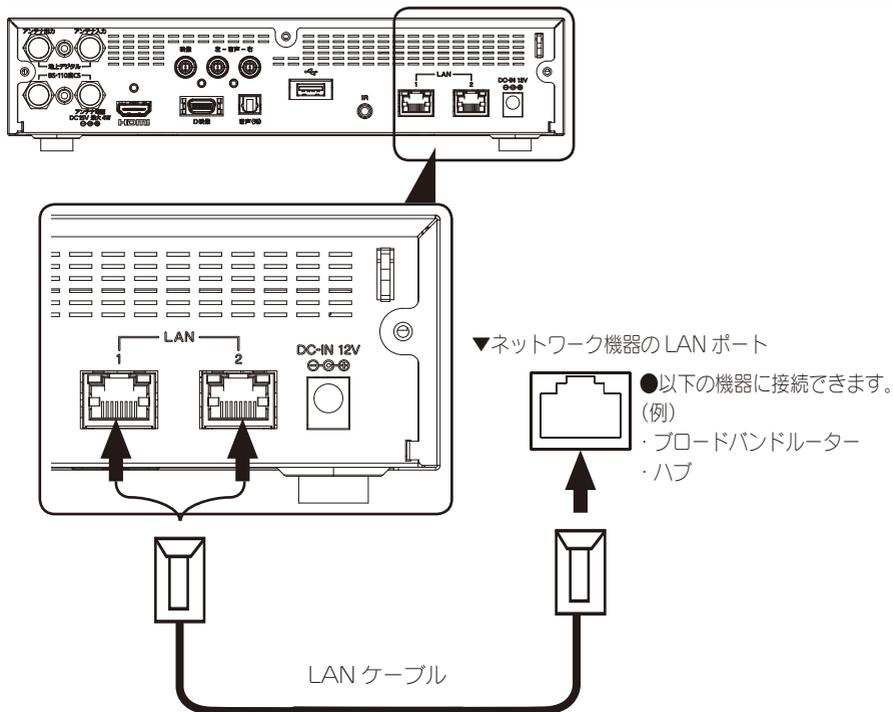
起動中に、赤（赤）を押します。

**注意　メディアサーバーご使用上の注意**

・ハードディスク内のファイル数によっては、メディアサーバーの起動に時間がかかる場合があります。
・ハードディスクを一度電源を抜いたり、停電などで電源が OFF になった場合は、再度起動設定してください。

# サーバーを準備する

本製品と同一ネットワークに接続した DLNA 準拠サーバーのデータを再生することができます。

## ネットワークにつなぐ

サーバー内のデータを再生するには、ネットワークに接続されていることが必要です。

# サーバーのファイルを再生する

## 本製品で再生できるサーバー

ネットワーク上の DLNA 準拠サーバー のデータを再生できます。

**パソコンのデータを再生する場合は、Windows Media Player の設定が必要です。**
**詳しくは、【資料】（116 ページ）をご覧ください。**

**注意**

●著作権保護されたデータは再生できません。
●お使いの DLNA 準拠サーバーにより配信可能なファイルが異なります。
DLNA 準拠サーバーの仕様をご確認ください。

**1**

**AVeL を押す**

AVeL メニューが表示されます。

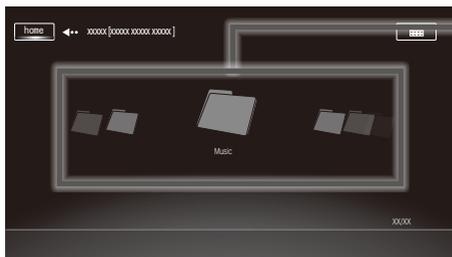
# サーバーのファイルを再生する

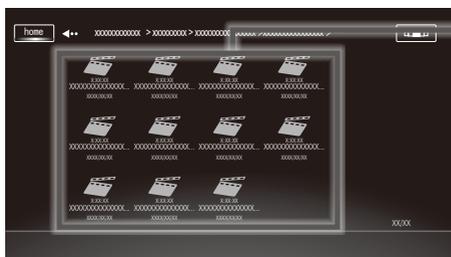
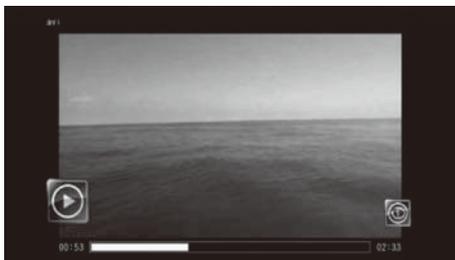
**2**

［ホームネットワーク］を選び、決定を押す

**3**

サーバーを選び、決定を押す

**4**

フォルダーを選び、決定を押す

**5**

データを選び、決定 を押す

選んだデータが再生されます。

再生中に表示される情報や再生モードの変更などの操作については、【画面のようす】(94 ページ) をご覧ください。

# ファイル共有までの流れ

## ファイル共有までの流れ

①ファイル共有するパソコン、ネットワークハードディスクなどをルーターに接続します。

②パソコン、ネットワークハードディスク側で、ファイル共有の設定を行います。
【資料 パソコンやネットワークハードディスクの共有】(124 ページ)へお進みください。

③本製品の AVeL メニューのファイル共有アイコン ファイル共有 を選んで、パソコンやネットワークハードディスクへアクセスし、ファイルを再生します。
※パソコンから本製品を指定することで、本製品に接続された大きなテレビで再生できます。

**注意**

●著作権保護されたデータは再生できません。
●ファイル共有で再生可能なファイルは、137 ページ「対応フォーマット」をご確認ください。

# 共有ファイルを再生する



AVeL メニューが表示されます。

# ビデオカメラ、HDD をつなぐ

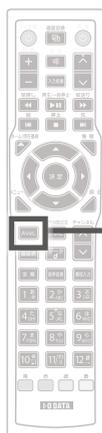
●AVCHDビデオカメラが2 種類の記録メディア（内蔵ハードディスク、内蔵メモリー、SD/SDHCカード）に録画できるAVCHDビデオカメラを利用する場合は、正常に動作しない場合があります。
AVCHDビデオカメラからSDカードを抜き、1 種類の記録メディアとして利用することをお勧めします。

●AVCHDビデオカメラはPC ストレージモードにして接続してください。
AVCHDビデオカメラによっては、モードが異なる場合があります。
詳しくは、AVCHDビデオカメラの取扱説明書をご確認ください。

# ビデオカメラの映像を保存する



録画用ハードディスクは使えませんので、別のUSBハードディスク（パソコン用）を用意してください。

**1**

AVeL メニューが表示されます。

**3** 保存先の USB ハードディスクを選びます。
※ 1 台のみの接続されている場合は手順 **5** に進んでください。

2 台以上の USB ハードディスクを接続している場合

※ USB ハードディスクをつないだ順に表示されます。

# ビデオカメラの映像を保存する

## 4 保存元のカメラデバイス（SD カード）を選びます。

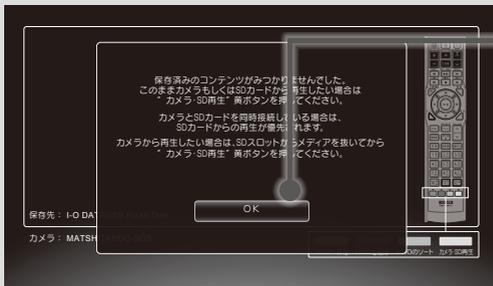
カメラをつないた場合、デバイス選択画面が表示されます。
つないだ順に認識します。（最大 6 つまでの認識になります。）
カメラ・SD カード内のデータ形式が表示されます。保存・再生したいデータ形式を選択してください。

例） ビデオカメラは AVCHD データを指します。
　　　デジタルカメラは DCIM データを指します。

なお、表示される名称は接続された機器によって異なります。

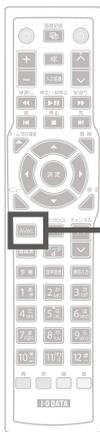
デバイス選択画面

※デジタルカメラの対応フォーマットについては、137 ページの「対応フォーマット」をご参照ください。

USB ハードディスクに初めて AVCHD 映像を保存する場合は、下の画面が表示されます。

［OK］を選び、決定を押す

接続した USB ハードディスクに初めて AVCHD 映像を保存する場合、USB ハードディスクに［iodatadir］フォルダが作成されます。

# 保存した映像を再生 / 削除する

録画用ハードディスクは使えませんので、別のUSBハードディスク（パソコン用）を
用意してください。

1 AVeL を押す

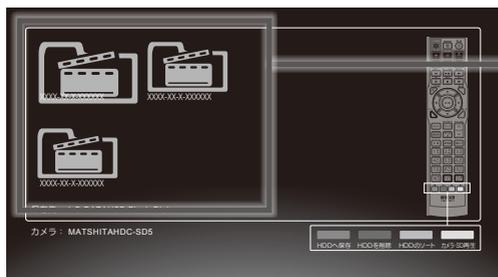
AVeL メニューが表示されます。

2 ［カメラプレーヤー］を選び、決定 を押す

3 つないだ USB ハードディスクを選び、決定 を押す

※先につないだ USB ハードディスクが先に表示されます。

**4**

**5**

映像が再生されます。

再生中に表示される情報や再生モードの変更などの操作については、【画面のようす】（94 ページ）をご覧ください。

# 保存した映像を再生 / 削除する

## USB ハードディスクに保存したファイルを削除する場合

削除するファイルを選択して、（赤）を押します。

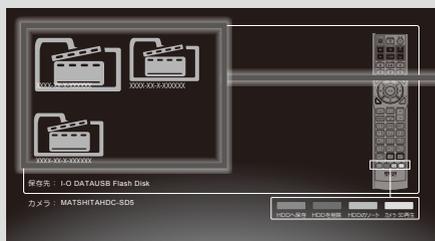
**1**

削除するファイルを選び、赤（赤）を押す

**2**

［決定］を選び、決定を押す

## USB ハードディスクに保存したファイルを並べ替える場合

緑（緑）を押すごとに日付順で並べ替えます。

緑（緑）を押すごとに、最近の日付順と古い日付順に並べ替えます。

※カメラ内のデータの並べ替えはできません。

※一部 AVCHD 映像や写真はソート機能に対応していません。
対応可否は下記表をご覧ください。

| | AVCHD<br>ビデオカメラ | DCIM<br>デジタルカメラ |
|---|---|---|
| フォルダ | ○ | ○ |
| 映像・写真 | × | ○ |

# ビデオカメラ /SD カードから再生する

**1**

AVeL を押す

AVeL メニューが表示されます。

**2**

［カメラプレーヤー］を選び、決定 を押す

**3**

つないだカメラを選び、決定 を押す

**4**

黄（黄）を押します。

撮影した映像の最初から再生が始まります。
前 / 先 を押すと前 / 先のチャプターに進みます。
※ SD カードの場合は、本製品前面の SD カードスロットに挿し込んでおいてください。

# TSUTAYA TV を見る

最新エンタメ情報やシネマ情報、リリース情報など TSUTAYA ならではのコンテンツが視聴可能です。
※ダウンロードレンタルサービス、セルサービスには対応しておりません。

利用する際は、本製品をインターネットに接続されているネットワークへつなぐ必要があります。

**1**

AVeL を押す

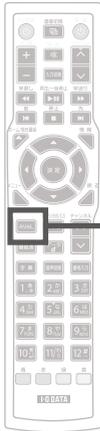
AVeL メニューが表示されます。

**2**

テレビ　録画番組　メディアサーバー設定　設定
ホームネットワーク　外部ストレージ　ファイル共有　カメラプレーヤー
TSUTAYA TV　アイ・オー・ポータル　アクトビラ

［TUTAYA TV］を選び、決定 を押す

# アクトビラを見る

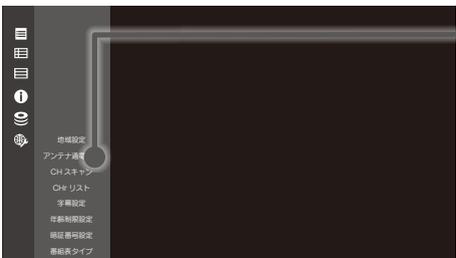
フル HD の高画質で映画や音楽、アニメなど幅広いジャンルの映像をレンタルビデオ感覚で楽しめる「アクトビラ ビデオ・フル」、天気予報やニュースなどの生活に役立つ情報をチェックできる「アクトビラ ベーシック」が視聴可能です。
※アクトビラ ビデオ・ダウンロードには対応しておりません。

利用する際は、本製品をインターネットに接続されているネットワークへつなぐ必要があります。

# もう一度チャンネルを設定する

※初期設定で設定済みです。
引越しなどで受信環境が変わった場合に設定します。

**1**

**2**

**3**

**4**

[ 地域 ] を選び、
決定 を押す

ケーブルテレビを利用している場合は [ 全周波数帯 ] を選ぶ

**5**

[ 決定 ] を選び、
決定 を押す

チャンネルスキャンを開始します。

**6**

[ はい ] を選び、
決定 を押す

スキャン結果を表示します。

# チャンネル受信レベルを確認する

アンテナの向きを調整するときに利用します。

**1**

**2**

**3**

**4**

初期設定ウィザード ▸ 地域設定 ▸ 受信レベル表示 ▸ チャンネルスキャン

受信状況を表示します。

地D BS BS

UHF

13CH NHK 教育・東京

現在：XX

最大：XX

戻る

**表示している放送局の受信レベルを確認する**

現在の受信レベルの値が
50 以上になるようにします。

**5**

初期設定ウィザード ▸ 地域設定 ▸ 受信レベル表示 ▸ チャンネルスキャン

受信状況を表示します。

地D BS BS

UHF

13CH NHK 教育・東京

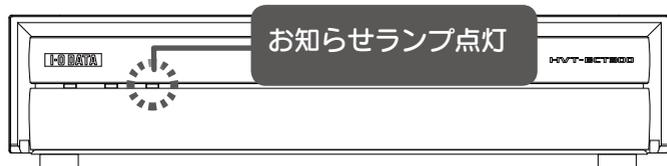
現在：XX

最大：XX

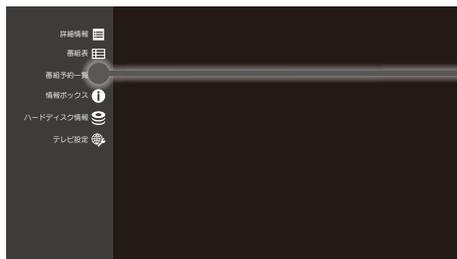
戻る

**[ 戻る ] を選び、**
**決定 を押す**

# お知らせメールを確認する

放送局からのお知らせや本製品のテレビ視聴に関する機能向上のためのファームウェアのアップデート情報などをメールでお知らせします。
メールが配信された場合は、本製品の「お知らせ」ランプが点灯し、番組情報にメールマークを表示してお知らせします。

※カメラプレーヤーや外部ストレージなどのテレビ視聴以外の機能のファームウェアアップデートのお知らせはおこないません。

**1** テレビを視聴している状態で［メニュー］を押す

テレビメニューが表示されます。

**2** [ 情報ボックス ] を選び、［決定］を押す

**3**

［メール］を選び、
決定 を押す

**4**

メール内容を確認します。

**削除を選んだ場合は**

メールを削除することができます。

**メールが届いていない場合は**

新しいメールが届いていない場合は、「メールは受信されていません。」と表示されます。

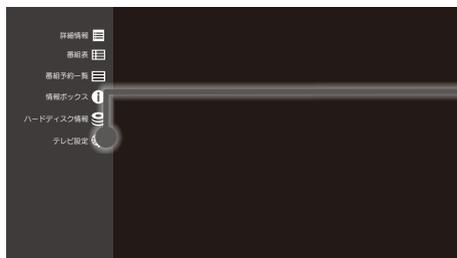
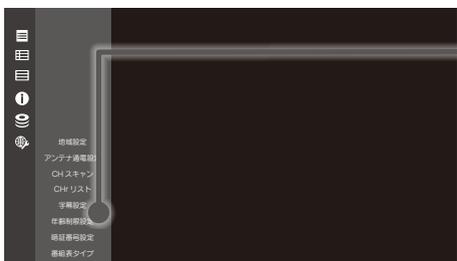
# テレビを年齢で制限する

視聴制限のある番組などで年齢制限を行う場合に使用します。

1

2

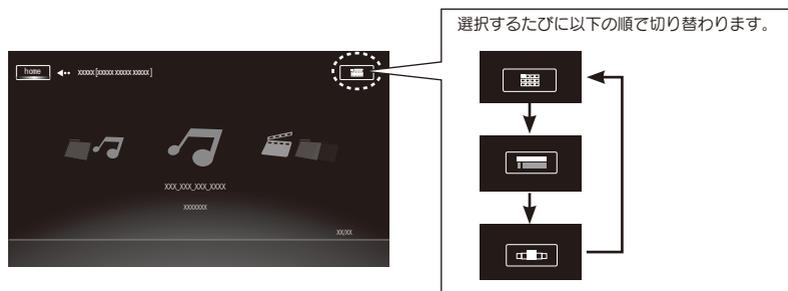
3

**4**

| 注意 | 暗証番号について |
|---|---|

暗証番号はお買い上げ時の設定は「0000」です。
ご使用になられるときは必ず暗証番号を変更してご利用ください。

**5**

# 表示モードを変更する

フォルダやファイルの選択画面をお好みの表示モード方法に変更することができます。

1 リモコンの [ 上 ] ボタンを押して表示モードアイコンを選びます。

2 リモコンの［決定］ボタンを押します。

以下の様に表示が切り替わります。

| | |
|---|---|
|  フォアステージビュー | サムネイルやファイルアイコンが大きく表示されるため、ファイルを１つづつ確認して探せます。<br>リモコンの［左 / 右］ボタンを押してファイルを選びます。 |
|  ショーケースビュー  | 一画面にサムネイルやファイルアイコンがたくさん表示されているので、大量のファイルの中からファイルをすばやく探せます。<br>リモコンの［上 / 下 / 左 / 右］ボタンを押してファイルを選びます。 |
|  リストビュー | サムネイルやファイルアイコン、ファイル名が縦一列に表示されるため、タイトルを確認しやすく、ファイルをすばやく探せます。<br>リモコンの［上 / 下］ボタンを押してファイルを選びます。 |

# セキュリティ設定をする

本製品とホームネットワーク上につながっているクライアントの公開モードを設定することができます。

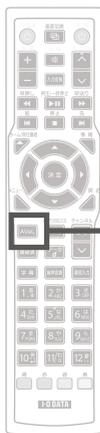
## 公開・非公開を切り換える

**1**

AVeL を押す

AVeL メニューが表示されます。

**2**

テレビ　録画番組　メディアアサーバー設定　設定
ホームネットワーク　外部ストレージ　ファイル共有　カメラプレーヤー
TSUTAYA TV　アイ・オー・ポータル　アクトビラ

［メディアサーバー設定］を選び、決定を押す

**3**

［セキュリティ設定］を選び、決定を押す

4

公開・非公開にしたいクライアントを選び、決定を押す

**全て非公開に設定する**

再設定する時など、全て非公開にする場合は、青（青）を押します。

**公開モード切換**

ネットワーク上に新しく見つかったクライアントに対して公開するかしないかを設定します。

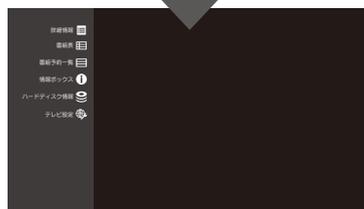
**一覧の公開されているクライアントを削除する**

赤（赤）を押すと、一覧の公開クライアントを全て削除します。

# テレビメニュー

## テレビメニューの開き方

メニュー を押す。

テレビメニューが表示されます。

## テレビメニューの項目

| 項目 | | 説明 |
|---|---|---|
| 詳細情報 | | 視聴している番組の詳細情報を表示します。 |
| 番組表 | | 番組表を表示します。 |
| 番組予約一覧 | | 録画予約してある番組一覧を表示します。 |
| 情報ボックス | B-CAS カード情報 | B-CAS カードの情報を表示します。 |
| | メール | お知らせメールを確認できます。（80 ページ） |
| | アンテナの受信レベル | 放送信号をどれくらい受信しているかを確認できます。（78 ページ） |
| ハードディスク情報 | | HDD を録画用に初期化したり、残り容量を確認できます。（35 ページ） |
| テレビ設定 | テレビの地域設定 | 視聴地域を設定できます。 |
| | アンテナ通電設定 | 衛星アンテナに電源を供給するかどうかを設定できます。 |
| | CH スキャン | チャンネルを検索できます。（76 ページ） |
| | CH リスト | チャンネルを設定できます。（76 ページ） |
| | 字幕設定 | 字幕の表示 / 非表示を設定できます。 |
| | 年齢制限設定 | 視聴を年齢で制限できます。（82 ページ） |
| | 暗証番号設定 | 暗証番号を設定できます。 |
| | 番組表タイプ | 番組表の表示形式を設定できます。（31 ページ） |

# AVeL メニュー

## AVeL メニューの開き方

## AVeL メニューの項目

| テレビ | テレビを見ます。（27 ページ） |
|---|---|
| 録画番組 | 録画した番組を再生します。（46 ページ） |
| メディアサーバー設定 | メディアサーバーの設定をします。（92 ページ） |
| 設定 | 本製品の各種設定を行います。（次ページ） |
| ホームネットワーク | ネットワーク上のコンテンツを再生します。（60 ページ） |
| 外部ストレージ | HDD/SD 内のコンテンツを再生します。（55 ページ） |
| ファイル共有 | ファイル共有コンテンツを再生します。（64 ページ） |
| カメラプレーヤー | AVCHD カメラのデータを HDD に保存します。<br>（66 ページ） |
| TSUTAYA TV | TSUTAYA ならではのコンテンツを視聴します。<br>※ダウンロードレンタルサービス、セルサービスには対応しておりません。 |
| アイ・オー・ポータル | 当社ネットワークサービス「アイ・オー・ポータル」を表示します。<br>※本機能はβ版のため、予告なくサービスを終了することがあります。 |
| アクトビラ | 「アクトビラ ビデオ・フル」、「アクトビラ ベーシック」が視聴可能です。<br>※アクトビラ ビデオ・ダウンロードには対応しておりません。 |

## 設定の項目

| ネットワーク設定 | 自動（DHCP）/手動設定 | | 自動設定：DHCP より自動で IP アドレスを取得します。（初期値）<br>手動設定：下のネットワーク設定を全て自分で行います。 |
|---|---|---|---|
| | IP アドレス | | 「手動設定」の場合、環境に合わせて設定してください。ネットワークに詳しい人のみ設定してください。 |
| | サブネットマスク | | |
| | デフォルトゲートウェイ | | |
| | DNS | | |
| 映像・音声設定 | 映像設定 | 映像設定 | アナログ出力（D 端子）：コンポジットと D 端子に映像を出力します。<br>デジタル出力（HDMI）：HDMI に映像を出力します。 |
| | | ビデオ解像度 | 出力する映像の最大解像度を設定します。<br>映像設定によって、ここの設定は異なります。 |
| | | アスペクト比 | お使いのテレビに合わせてアスペクト比を設定します。（HDMI では使いません。） |
| | 音声設定 | デジタル音声出力 | 光デジタル・HDMI から出力される音声を設定します。<br>LPCM：音声データを変換し、2 ｃｈのリニア PCM 音声データ ( 非圧縮）として出力します。<br>ビットストリーム：音声データを変換せずに、コンテンツの音声のままで出力します。 |
| | HDMI リンク設定 | HDMI リンク | HDMI リンクの機能を設定します。<br>※テレビ側も HDMI リンク機能を有効にする必要があります。<br>※テレビにより操作できる機能が異なります。<br>※全ての HDMI 対応テレビとの連動を保証するものではありません。 |
| スライドショー設定 | スライドショー間隔 | | 画像をスライドショー再生する際のスピードを設定します。 |

| スクリーンセーバー設定 | スクリーンセーバー | 焼き付きを防止するスクリーンセーバー機能を設定します。<br>有効にすると、本製品を 5 分間操作しない状態になると、スクリーンセーバー機能が働きます。 |
|---|---|---|
| スタンバイ設定 | USB 電源 | 本製品がスタンバイ時に USB 機器に電源を供給するか設定します。 |
| 出荷時設定に戻す | 出荷時設定に戻す | 設定を全てご購入時の状態に戻します。<br>※録画予約や録画番組には影響しません。 |
| 製品情報 | 製品情報 | 本製品の情報を表示します。 |
| ファームウェアアップデート | ファームウェアアップデート | 本製品の機能を最新のものに更新できます。<br>インターネットと USB メモリーからの更新が行えます。<br>※ USB メモリーからの更新に使うデータは、弊社 Web ページの本製品ページから入手してください。<br>※アップデート中に本製品の電源を切ったり、アップデートに使っている USB メモリーを抜いたりしないでください。アップデートが中断されると故障の原因となります。<br>※テレビ視聴に関する機能のアップデートは、テレビの放送波を使って自動的に行われることがあります。 |

# メディアサーバー設定

## メディアサーバー設定の開き方

AVeL を押す。

AVeL メニューが表示されます。

### メディアサーバー名について

メディアサーバー名は以下のように表示されます。

録画用ハードディスク：HVT-BCT300-REC-XXXXXX

一般用ハードディスク：HVT-BCT300-EXT-XXXXXX

（XXXXXX：製品の MAC アドレス下 3 桁を表示）

MAC アドレスは本製品本体底面に記載されています。

## 設定の項目

| | |
|---|---|
| メディアサーバーの起動・停止 | 一般用ハードディスクのメディアサーバー機能の起動・停止を設定できます。<br>※録画用ハードディスクのメディアサーバー機能は自動的に起動します。<br>※一般用ハードディスクが接続されていないときは設定操作はできません。<br>「起動」：一般用ハードディスクのメディアサーバー機能を起動します。<br>「停止」：一般用ハードディスクのメディアサーバー機能を停止します。 |
| メディアサーバーの状態表示 | 録画用ハードディスクと一般用ハードディスクのメディアサーバー機能の起動・停止状態を表示します。<br>「停止しています」：メディアサーバー機能が停止しています。<br>「稼動中です」　：メディアサーバー機能が起動しているとき表します。<br>公開全解除　：公開されているクライアント（DMP）の公開を全て非公開にします。<br>全て削除　：一覧にある公開されているクライアント（DMP）を全て削除します。<br>最新状態更新　：接続したクライアントを最新の状態に更新します。<br>公開モード切換：新しくクライアント（DMP）が接続された場合の公開モードの設定を切り替えます。 |
| セキュリティ設定 | クライアント（DTCP-IP 対応ネットワークメディアプレーヤー）の公開・非公開を設定できます。（86 ページ） |
| 録画番組配信・ダビングの確認 | 録画用ハードディスク内の録画番組の配信やダビングの有効・無効を確認できます。 |

# 動画再生時

再生モード

| アイコン | 機能 | 意味 |
|---|---|---|
| | Shuffle | 再生フォルダ内の全ての動画の順番をシャッフルして再生します。 |
| | Play One | 1つの動画を１回再生します。 |
| | Repeart One | 1つの動画を繰り返し再生します。 |
| | Play All | フォルダ内の全ての動画を１回再生します。 |
| | Repeat All | フォルダ内の全ての動画を繰り返し再生します。 |

# リモコン操作

早戻し再生
押すごとにx2、x4、x8、x20、x50、x100と再生速度が上がります。
早送り再生
押すごとにx2、x4、x8、x20、x50、x100と再生速度が上がります。
前の動画を再生
次の動画を再生
再生を停止
再生中：一時停止
停止中：再生
早送り・早戻し中：通常再生に戻す
再生中の動画の情報表示
30秒前にスキップ
30秒後にスキップ
再生中：動画のタイトル表示
停止中：ツールメニューを表示
1つ前の画面に戻る
リピートモードを切り換える
Play One
Repeat All
Repeat One
Play All
シャッフルモードをON/OFFする

# 音楽再生時

| アイコン | 機能 | 意味 |
|---|---|---|
| | Shuffle | 再生フォルダ内の全ての動画の順番をシャッフルして再生します。 |
| | Play One | 1つの動画を1回再生します。 |
| | Repeart One | 1つの動画を繰り返し再生します。 |
| | Play All | フォルダ内の全ての動画を1回再生します。 |
| | Repeat All | フォルダ内の全ての動画を繰り返し再生します。 |

# リモコン操作

早戻し再生
押すごとにx2、x4、x8、x20、x50、x100と再生速度が上がります。
早送り再生
押すごとにx2、x4、x8、x20、x50、x100と再生速度が上がります。
早戻し
再生/一時停止
早送り
前
停止
先
前の動画を再生
次の動画を再生
再生中：一時停止
停止中：再生
早送り・早戻し中：通常再生に戻す
再生を停止
再生中：一時停止
停止中：再生
早送り・早戻し中：通常再生に戻す
ホーム/現在番組
情 報
決 定
メニュー
戻 る
30秒前にスキップ
30秒後にスキップ
音楽リスト内の音楽をを選ぶ
1つ前の画面に戻る
リピートモードを切り換える
Play One
Repeat All
Repeat One
Play All
シャッフルモードをON/OFFする
TV電源
画面切換
電 源
音 量
消 音
チャンネル
入力切換
地デジ/BS/CS
チャンネル
AVeL
テレビ
番組表
データ
字 幕
音声切換
番号入力
青
赤
緑
黄
I·O DATA

# 画像再生時

再生状態

枚数

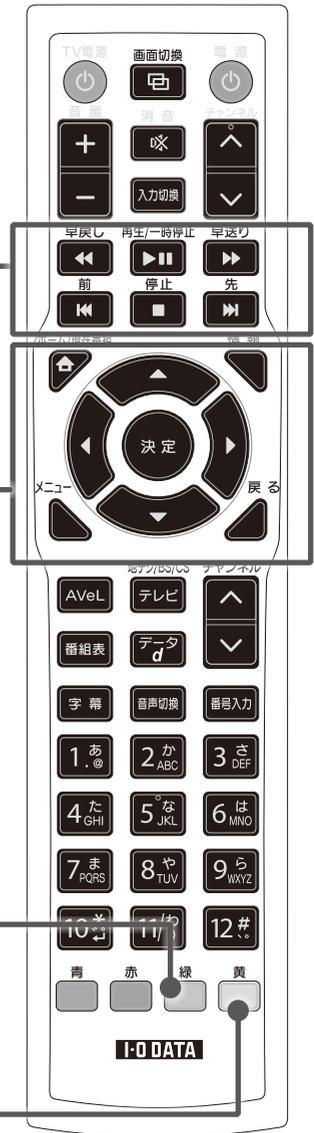
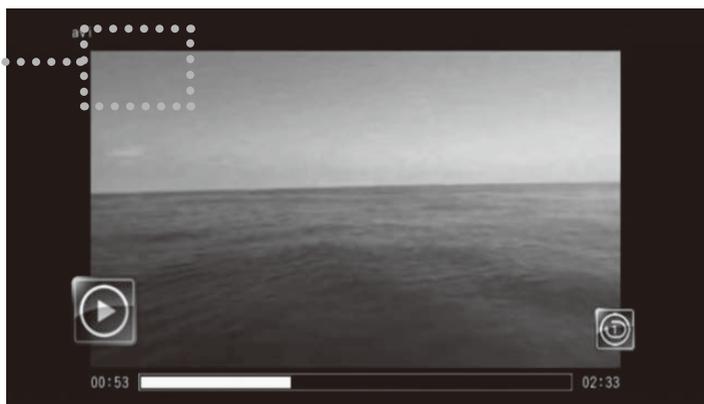
現在再生している位置

再生モード

| アイコン | 機能 | 意味 |
|---|---|---|
| | Shuffle | 再生フォルダ内の全ての動画の順番をシャッフルして再生します。 |
| | Play All | フォルダ内の全ての動画を１回再生します。 |
| | Repeat All | フォルダ内の全ての動画を繰り返し再生します。 |

# リモコン操作

停止中：スライドショー再生
再生中：一時停止
早戻し
再生/一時停止
早送り
前
停止
先
前の画像を再生
次の画像を再生
再生中：停止後、画像一覧に戻る
画像一覧表示中：バックグラウンドの音楽を停止する
ツールメニューの表示
ホーム/現在番組
情 報
決 定
メニュー
戻 る
前の画像を再生
次の画像を再生
1つ前の画面に戻る
停止中：画像を再生
再生中：再生した画像よりスライドショーの開始
スライドショー中：一時停止 / 再生再開
TV電源
画面切換
電 源
音 量
消 音
チャンネル
入力切換
地デジ/BS/CS
チャンネル
AVeL
テレビ
番組表
データ
字 幕
音声切換
番号入力
青
赤
緑
黄
I·O DATA
リピートモードを切り換える
Repeat All
Play All
シャッフルモードを ON/OFF する

# ISO ファイル再生時

状態表示

| アイコン | 機能 | 意味 |
|---|---|---|
| 早戻し x2 | 早戻し | 早戻し再生をしています。 |
| 早送り x2 | 早送り | 早送り再生をしています |
| 再生 | 再生 | 再生中です |
| 停止 | 停止 | 停止しています |

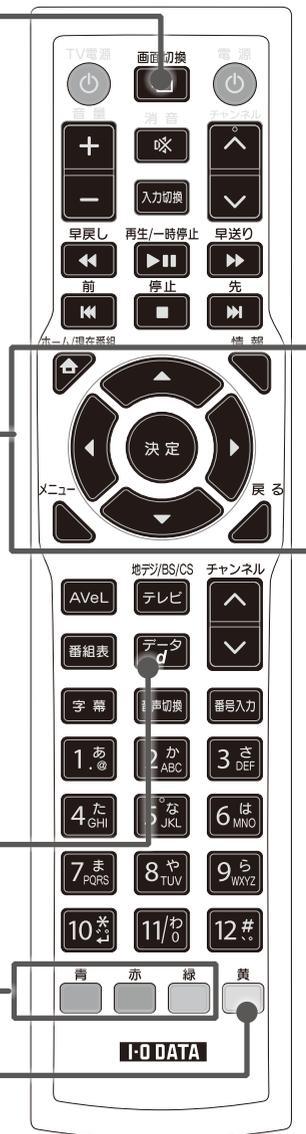
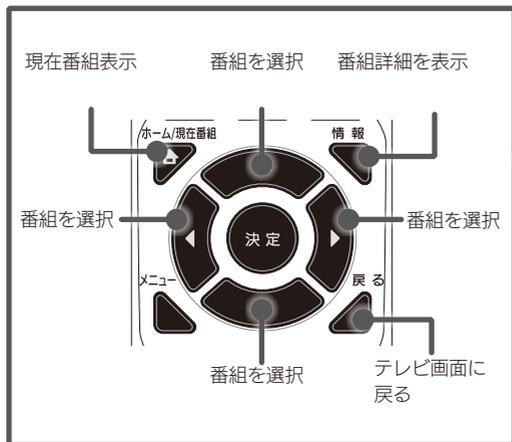
# リモコン操作

早戻し再生
押すごとに x2、x4、x8、x20、x50、x100 と再生速度が上がります。
早送り再生
押すごとに x2、x4、x8、x20、x50、x100 と再生速度が上がります。
早戻し
再生/一時停止
早送り
前
停止
先
１つ前の
チャプターに移動
１つ先の
チャプターに移動
再生を停止
再生中：一時停止
一時停止中：再生再開
早送り・早戻し中：通常再生に戻す
AVeL メニューに戻る
DVD Video のタイトルメニューを表示
ホーム/現在番組
情 報
30 秒前にスキップ
30 秒後にスキップ
決 定
メニュー
戻 る
DVD Video のチャプターメニューを表示
１つ前の画面に戻る
AVeL メニューを表示
テレビ画面に切り換え
地デジ/BS/CS
チャンネル
AVeL
テレビ
番組表
データ
字 幕
音声切換
番号入力
字幕モードを切り換え
音声モードを切り換え
電源を ON/OFF する
TV電源
画面切換
電 源
音 量
消 音
入力切換
1 あ @
2 か ABC
3 さ DEF
4 た GHI
5 な JKL
6 は MNO
7 ま PQRS
8 や TUV
9 ら WXYZ
10
11 わ
12 #
青
赤
緑
黄
I·O DATA

# 番組表

現在視聴している番組

# リモコン操作

表示切換
マルチチャンネル表示に切換
現在番組表示
番組を選択
番組詳細を表示
番組を選択
番組を選択
番組を選択
テレビ画面に
戻る
データ放送の番組表
に切換
番組表の日付を移動
予約一覧を表示
TV電源
画面切換
電源
音量
消音
チャンネル
入力切換
早戻し
再生/一時停止
早送り
前
停止
先
ホーム/現在番組
情報
決定
メニュー
戻る
地デジ/BS/CS
チャンネル
AVeL
テレビ
番組表
データ
字幕
音声切換
番号入力
青
赤
緑
黄
I·O DATA

# 困ったときには

| 困った！ | | 対処 | ページ |
|---|---|---|---|
| 画面表示がおかしい | 画面が映らない | 電源がオンになっているかご確認ください。 | － |
| | | テレビのリモコンの［入力切換］ボタン（または［ビデオ］ボタン）を何度か押し、本製品の画面が表示されないかをご確認ください。 | － |
| | | テレビと本製品が正しくつながっているかをご確認ください。 | 18 ページ |
| | | 本製品とテレビを HDMI ケーブルと同時に AV ケーブルや D 端子ケーブルをつない　だ場合、HDMI ケーブル側に映像を出力します。<br>そのため、AV ケーブル側や D 端子ケーブル側には映像が出力されません。 | － |
| | D端子のビデオ解像度を間違えて設定した | リモコンの [ メニュー ]+[ 青 ] を押すと、工場出荷時状態にリセットし、製品が再起動します。工場出荷時に戻った場合は、再度初期設定をしてください。<br>その際には正しいビデオ解像度の設定をしてください。 | － |
| | 画面が縦長や横長に表示される | お使いのテレビと設定が合っていません。AVeL メニューの「設定」内の「映像音声設定」で「ビデオ解像度」や「アスペクト比」を正しく設定してください。 | － |
| | テレビの映りが悪い<br>一瞬映像が乱れる。ブロックノイズが表示される | アンテナが正しくつながっているかをご確認ください。 | 18 ページ |
| | | アンテナの向きをご確認ください。チャンネル受信レベルを確認しながら向きを調整してください。 | 78 ページ |
| | | チャンネルの設定をご確認ください。 | － |
| | | アンテナ線が劣化している場合があります。この場合はアンテナ線を交換してください。 | － |
| | ビデオ解像度やアスペクト比を切り換えても、黒い部分が残る | シネマサイズなどの一部の番組では、完全に画面いっぱいに表示されないことがあります。 | － |
| | | 4:3 ディスプレイにつないでいる場合は仕様となります。ご了承ください。 | － |
| | | アナログ RGB ワイドディスプレイにつないでいる場合、ディスプレイ側の設定をフルスクリーン表示にすることで解消されることがあります。 | － |
| | 画面が固まった、フリーズした、応答がない | 30 秒経過すると自動的に再起動されます。しばらくお待ちください。 | － |
| | | 1 分ほど待っても応答がない場合は、電源コンセントから AC アダプターを抜いて 1 ～ 2 分してからコンセントにつなぎ直してください。 | － |

| 困った！ | | 対処 | ページ |
|---|---|---|---|
| チャンネル設定がうまくできない | 番組を視聴できない | アンテナの接続、向きをご確認ください。 | 78 ページ |
| | | チャンネルの設定をやり直してください。 | 76 ページ |
| | | B-CAS カードを正しくセットしてください。 | 17 ページ |
| | | BS の場合、BS アンテナの電源設定を確認してください。 | ― |
| | 地デジ放送局が登録されない | アンテナの接続、向きをご確認ください。 | 78 ページ |
| | | 地上デジタル放送のアンテナは UHF アンテナかどうかご確認ください。VHF アンテナのみの場合、地上デジタル放送は受信できません。 | ― |
| | | お使いのＵＨＦアンテナの受信帯域が地上デジタル放送の帯域用でない可能性があります。この場合は地上デジタル放送の帯域に対応したアンテナに交換してください。 | ― |
| | | マンションなどの共聴システムにつなぐ場合、地上デジタルと BS デジタルの信号が混ぜられている場合があります。<br>この場合、UV/BS 110 度 CS 分波器をご使用ください。また、BSアンテナ電源は必ず管理人に確認して設定してください。 | 18 ページ |
| | | 市販の地上デジタル放送用 UHF アンテナ、ブースター、混合機などを用意することをご検討ください。<br>本製品を設置される地域（場所）が地上デジタル放送を視聴可能かどうかは、最寄りの電器販売店や「総務省　地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター」に問い合わせてください。<br>ビルの陰やビルの反射などの受信障害がある環境では、放送エリア内でも受信できないことがあります。 | 18 ページ |
| | チャンネルを切り換えられない | 録画中はチャンネルを切り換えられません。<br>録画中以外で切り換えられない場合は、コンセントから AC アダプターを抜き、1 ～ 2 分してからコンセントにさし直してください。 | ― |
| | ケーブルテレビ（ＣＡＴＶ）放送が受信できない | CATV 会社の加入手続きが必要です。CATV 会社にご確認ください。 | ― |
| | | チャンネルの設定をやり直してください。ケーブルテレビでお使いの場合はチャンネルスキャン時の設定で「対象周波数帯」を「全周波数」で設定してください。 | ― |
| | | 本製品とアンテナをパススルーで正しく接続されているか確認してください。 | ― |
| | | 受信できないチャンネルが存在する場合があります。詳しくは、ケーブルテレビ会社にお問い合わせください。 | ― |
| | BS・110 度 CS デジタル放送を受信できない | BS・110 度 CS のアンテナ接続をご確認ください。 | ― |
| | | B-CAS カードが正しく挿入されていることをご確認ください。 | 17 ページ |
| | | ブースターや分配器をご使用になっている場合は、110 度 CS 帯域 (2150MHz) まで対応した機器に交換する必要があります。 | ― |

# 困ったときには

| 困った！ | | 対処 | ページ |
|---|---|---|---|
| 電源がおかしい | 電源が入らない | 電源コンセントから AC アダプターを抜いて 1 ～ 2 分してからコンセントにつなぎ直してください。 | ― |
| | | 本製品前面のランプが何も点灯していない場合、本製品に電源が供給されていません。<br>AC アダプターがきちんとコンセントにつなげられているかをご確認ください。<br>AC アダプターと AC ケーブルをつなぎ直してみることをおすすめします。<br>電源タップにつないでいる場合は、電源タップがコンセントにつながっているか、電源タップのスイッチがオフになっていないかをご確認ください。 | ― |
| | | 本製品前面の電源ランプが点灯 ( 赤色 ) している場合、本製品の電源がオフになっています。リモコンもしくは本体の電源ボタンを押し、本製品の電源をオンにしてください。 | ― |
| | 電源を切っているのに、暖かい | 故障ではありません。番組表の情報取得やソフトウェア更新などの処理のために、電源が切られていても動作していることがあります。そのため、本製品が暖かくなることがあります。 | ― |
| 操作がおかしい | 操作ができない | コンセントから AC アダプターを抜いて、1 ～ 2 分してからコンセントにさし直してください。 | ― |
| | | リモコンの電池が消耗していないか確認してください。 | ― |
| | 操作の反応が遅い | 故障ではありません。<br>地上・BS デジタル放送では、信号処理の関係上、チャンネルの切り換えや電源を入れるのに時間がかかります。 | ― |
| リモコンがおかしい | リモコン操作ができない | 新しい電池に入れかえてください。 | ― |
| | | 電池ふたを開け、電池の向き（＋－）をご確認ください。 | 21 ページ |
| | | リモコン受光部・リモコン操作範囲をご確認ください。 | ― |
| | | いくつかのボタンを押してみて、動作するかをご確認ください。動作しないようであればサポートセンターにお問い合わせください。 | ― |
| | | 仕様上動作しないボタンの場合があります。各ボタンの機能をご確認ください。 | 10 ページ |
| | | 赤外線を発するものが本製品の近くにある場合、リモコン操作できなくなることがあります。本製品から遠ざけてください。 | ― |
| | | 電源コンセントから AC アダプターを抜いて 1 ～ 2 分してからコンセントにつなぎ直してください。 | ― |

| | 困った！ | 対処 | ページ |
|---|---|---|---|
| 録画できない | 録画ができない<br>予約録画ができない | 他の番組を録画中は録画できません。 | ― |
| | | 録画済番組数が多くハードディスク容量が不足している場合は録画できません。不要な番組を削除してから録画してください。 | ― |
| | | 電波状態が悪く録画できない可能性があります。アンテナの受信レベルを確認してください。 | 78 ページ |
| | | 一部の有料放送などで録画が禁止されている番組の場合は録画できません。 | ― |
| | | 録画時に接続されていたハードディスクを取り外した場合、または、別のハードディスクを接続した場合は予約録画はされません。予約録画設定時のハードディスクを接続してください。 | ― |
| | | すでに予約可能な最大番組数の予約登録されている場合があります。不要な予約を取り消してください。 | ― |
| | | 放送時間の延長など、番組内容が変更された場合が考えられます。 | ― |
| | 110 度 CS デジタル放送が録画できない | 本製品は 110 度 CS デジタル放送の録画には対応しておりません。（2010 年 4 月現在） | |
| カメラプレーヤーがおかしい | ビデオカメラ、保存先が見つからない | 正しくつながっていることをご確認ください。<br>ビデオカメラは PC ストレージモードにして接続してください。<br>ビデオカメラによっては、モードが異なる場合があります。詳しくは、ビデオカメラの取扱説明書をご確認ください。 | ― |
| | 撮影した AVCHD 映像が見つからない | 内蔵ハードディスクと SD カードなどを搭載したビデオカメラをつないでいるため、ビデオカメラが 2 種類の記録メディア（内蔵ハードディスク、内蔵メモリー、SD/SDHC カード）に録画できるビデオカメラを利用する場合は、正常に動作しない場合があります。ビデオカメラから SD カードを抜いてから利用することをお勧めいたします。 | ― |
| | AVCHD ビデオカメラを認識しない | 本製品とつなぐ時には、ビデオカメラは PC ストレージモードにして接続してください。<br>ビデオカメラによっては、モードが異なる場合があります。詳しくは、ビデオカメラの取扱説明書をご確認ください。 | ― |
| | AVCHD ビデオカメラから再生せずに、SD カードスロットに挿した SD カードから再生してしまう | SD カードスロットに挿した SD カードからの再生が優先されます。<br>AVCHD ビデオカメラから再生する場合は、SD カードスロットからSDカードを抜いてから、リモコンの［黄（カメラ・SD 再生）］ボタンを押してください。 | ― |

# 困ったときには

| | 困った！ | 対処 | ページ |
|---|---|---|---|
| 外部ストレージがおかしい | メモリカードを差し換えたのに、前のメモリカードのデータが残っている | 本製品の USB 端子からマルチカードリーダーを取り外さずに SD カードを抜き差ししたため、マルチカードリーダーに挿した SD カードなどを抜き差しする場合は、一度、本製品の USB 端子からカードリーダーを外してください。 | ― |
| | USB ストレージが認識しない | USB ストレージが正しくつながっていることをご確認ください。 | 54 ページ |
| | | USB ストレージの種類や状態によっては、つないでから認識されるまで 1 分以上掛かることがあります。 | ― |
| | | USB ポートから最大 500mA までの電力が供給されます。USB ストレージの消費電流が 500mA 以上のもの（ハードディスクなど）は、バスパワーでなく、電源コンセントにつないで使ってください。 | ― |
| ホームネットワークがおかしい | サーバーが見つからない | サーバーが起動していない場合、サーバーと通信できません。また、サーバーが起動した直後は、まだサーバーとの通信ができない場合があります。 | ― |
| | | アクセス制限が設定されているため（DLNA 準拠サーバー）DLNA 準拠サーバーでアクセス制限が設定されている場合、アクセス制限を解除してください。 | ― |
| | | ファイアウォールソフトが本製品からのアクセスを遮断していないかご確認ください。 | ― |
| | ネットワークに接続できない | ネットワークと正しくつながっていることをご確認くださ い。特に、LAN ケーブルが正しくつながっているかをご確認ください。正しくつながっている場合はつながっている LAN ポートに LED が点灯（緑色）します。 | 115 ページ |
| | | ルーター等のネットワーク機器の取扱説明書をご覧になり、正しく設定してください。設定により、接続が制限されている場合がありますので、ご確認ください。 | ― |
| | | 本製品はネットワークにつなぐだけで DHCP を利用して自動で設定されます。DHCP を利用していない場合は、お使いのネットワーク環境にあわせて、手動設定を行ってください。 | ― |

| 困った！ | | 対処 | ページ |
|---|---|---|---|
| ファイル共有がおかしい | サーバーが表示されない | ネットワーク環境により時間がかかる場合があります。<br>リモコンの「AVeL」ボタンを押して「AVeL メニュー」の表示の状態でしばらく待ってから「ファイル共有」を選択してください。 | ― |
| | | 他の機器から正常に共有フォルダにアクセスできるか確認してください。<br>正常にアクセスできない場合は、Windows の共有設定を再度ご確認ください。<br>それでも正常にアクセスできない場合は、ルーター等のネットワーク機器や本製品の再起動をお試しください。<br>本製品を再起動する場合は、電源コンセントから AC アダプターを抜いて 10 秒以上経過してからコンセントにつなぎ直してください。 | ― |
| | フォルダが表示されない | ファイル共有設定しているフォルダが 1 つも存在していないサーバー（パソコンや LANDISK）で共有フォルダを作成してください。 | ― |
| | ファイルが表示されない | ネットワークフォルダに動画、音楽、画像に分類できるファイルがはいっていなかった。<br>当社ホームページの「対応フォーマット」をご覧になり、ネットワークフォルダ内のファイルが再生可能のものか確認してください。 | ― |
| | 共有フォルダにはアクセスできるが、「コンテンツが存在しません」と表示される | Guest アカウントにアクセス許可の権限を与えていない。<br>以下の手順をお試しください。<br>1．共有フォルダを右クリックし、[ 共有 ] をクリックします。<br>2．[ 共有アクセス許可の変更 ] を選択します。<br>3．プルダウンメニューより [Guest] を選び、[ 追加 ] ボタンをクリックします。 | ― |
| | 映像が正常に再生されない（とまる、コマ落ちする） | ご使用の環境にもよりますが、DLNA 準拠サーバーの使用時に比べ、再生可能な最大ビットレートは低くなります。<br>（目安としては、12Mbps 程度が上限となります） | ― |

# 困ったときには

| 困った！ | | 対処 | ページ |
| --- | --- | --- | --- |
| ファイル共有がおかしい | ゲストログインができず、「サーバーへの接続に失敗しました。ログイン情報を確認してください」と表示される | Mac OS X で Guest アカウントが有効になっていない。<br>以下の手順をお試しください。<br>1.[ コントロールパネル ] → [ ユーザーアカウント ] で Guest アカウントをダブルクリックします。<br>2. 表示された画面で［オン］ボタンをクリックします。 | − |
| | | Windows 7/Vista で「パスワード保護共有」が有効になっている。<br>以下の手順をお試しください。<br>1.[ コントロールパネル ] から [ ネットワークと共有センター ] を起動します。<br>2.[ パスワード保護共有 ] を無効に設定します。 | − |
| | | Windows XP Professional で「簡易ファイルの共有を使用する（推奨）」のチェックを外している。<br>以下の手順をお試しください。<br>1．共有フォルダを右クリックし、[ 共有とセキュリティ ] をクリックします。<br>2．[ セキュリティ ] タブをクリックします。<br>3．[ 追加 ] ボタンをクリックします。<br>4．「選択するオブジェクト名を入力してください」の欄に "everyone" と入力し、[OK] をクリックします。<br>5．[ 適用 ] → [OK] と順にクリックします。 | − |
| | | ネットワークフォルダにユーザー制限がかかっている。<br>フォルダにアクセスする時に、ユーザー名とパスワードを入力してください。ユーザー名とパスワードについては、パソコンの設定を<br>確認してください。 | − |
| | | 入力したアカウント、パスワードが間違っていないか、設定したパスワードに記号が使用されていないか確認してください。<br>※パスワードに記号を使用することはできません。<br>記号を使用している場合は、改めてパスワードを設定してください。 | − |

| | 困った！ | 対処 | ページ |
|---|---|---|---|
| **メッセージが表示された** | 「ダウンロード実行中」と表示された | ソフトウェアの更新をしています。<br>更新が完了するまで、約 10 分かかります。そのまま電源を切らずにお待ちください。 | — |
| | 電子番組表（ＥＰＧ）が表示されるまでに時間がかかる | 本製品を初めてご使用される場合は初期設定が完了するまで電子番組表（EPG）は表示されません。初期設定を行ってください。 | — |
| | | 本製品の AC アダプターを 1 週間以上つないでいない時は電子番組表（EPG）のデータ取得に時間がかかります。 | — |
| | | 地上デジタル放送はそのときに視聴していたチャンネルのデータしか取得できません。 | — |
| | | BS・110 度 CS 放送はいずれかのチャンネルをしばらく視聴すると、全てのチャンネルのデータが取得できます。 | — |
| | 「降雨対策放送に切り替わりました」と表示された | BS デジタル放送では、雪や雨が降って受信状態が悪くなると自動的に降雨対策放送に切り替わることがあります。降雨対策放送は、通常に比べて画質・音質が低下します。天候が回復すると元の受信状態に戻ります。 | — |
| | エラーメッセージが表示された | 【エラー表示一覧】をご覧ください。 | 113 ページ |

# 困ったときには

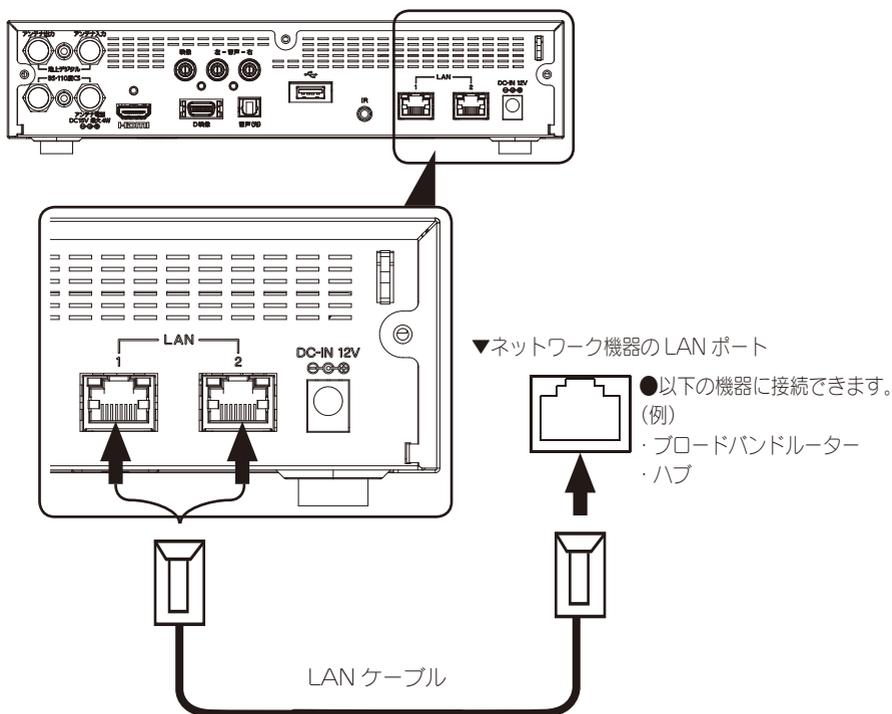
| 困った！ | | 対処 | ページ |
|---|---|---|---|
| その他 | データ放送を使えない | 本製品は、双方向通信（青・赤・緑・黄ボタンを使う機能）に対応しておりません。 | — |
| | 音声が出ない | テレビと正しくつながっているかをご確認ください。 | — |
| | | テレビのリモコンで音量を調整してみてください。 | — |
| | | 他の音声がある動画を再生し、問題がないかご確認ください。 | — |
| | 映像や音声が乱れる | ●テレビを視聴中の場合<br>・アンテナ接続をご確認ください。（ループ接続になっている場合があります。）<br>・本製品とテレビの間にビデオデッキなどがある場合は本製品とテレビを直接つないで問題がないかご確認ください。<br>・テレビと正しくつながっているかをご確認ください。また、ケーブルの端子が破損したり、歪んだりしていないことをご確認ください。 | — |
| | | ●ホームネットワーク機能や外部ストレージ機能でコンテンツを視聴中の場合<br>・再生中のコンテンツが対応しているかをご確認ください。コンテンツの状態が良くない場合も、映像・音声が乱れる場合があります。対応フォーマットのデータでも、形式・作成方法・ネットワーク環境などにより、正しく再生できない場合があります。<br>・他の機器とサーバーが通信している場合、本製品とサーバーとの通信に問題が起こる場合があります。サーバーが他の機器と通信していないかをご確認ください。 | — |
| | 録画用ハードディスクの初期化に失敗した | パソコンで Windows 用にフォーマットしてから、再度録画用ハードディスクとして初期化してください。 | — |

# エラー表示一覧

| | エラー | 状態 |
|---|---|---|
| 視聴関連エラーメッセージ | 信号が受信できません。 | アンテナ接続に不具合があり、チャンネルを受信できない場合 |
| | 現在放送されていません。 | 現在放送されていない、<br>または<br>休止中のチャンネルの場合 |
| | IC カードを正しく装着してください。 | B-CAS カードが未挿入の場合 |
| | チャンネルが存在しません。 | 選局したチャンネルが存在しない場合 |
| | このIC カードは使用できません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。 | B-CAS カードが<br>登録されていない場合 |
| | このIC カードではご覧になることができません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。 | ID が不整合な B-CAS カードが挿入されている場合 |
| | IC カードの交換が必要です。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください | B-CAS カードが故障している、または交換が必要な場合 |
| | このチャンネルはご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。 | 未契約の有料放送の場合 |
| | 契約期限が切れています。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。 | 契約期限が過ぎている<br>有料放送の場合 |
| | このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。 | 視聴が制限されている<br>チャンネルの場合 |

# 困ったときには

| | エラー | 状態 | |
|---|---|---|---|
| 録画関連エラーメッセージ | 録画用ハードディスクが複数台接続されています。<br>1 台のみ接続してください。 | EPG にて予約指示をした場合もしくはテレビメニューで「ハードディスク情報表示」を選択した場合 | 録画用ハードディスクが複数接続されている場合 |
| | 録画用に初期化されていません。<br>テレビメニューのハードディスク情報設定にて初期化してください。 | | 対象ディスクが録画用ハードディスクにフォーマットされていない場合 |
| | 録画するハードディスクを接続してください。 | | 録画用ディスクが<br>接続されていない場合 |
| | ハードディスクが複数台接続されています。1 台のみ接続してください。 | | 録画用以外のハードディスクが複数接続されている場合 |
| | 予約がいっぱいです。<br>これ以上予約できません。 | 録画予約時 | 同時予約が最大 257 件を越えた場合 |
| | 録画時間が重複しているため、予約できません。 | | 予約時、開始時刻が重なる場合 |
| | ハードディスクの録画領域が十分ではありません。続行しますか？ | | 予約時に予想されるサイズでハードディスクに収まらない場合 |
| | この番組は 12 時間を越えるため、予約できません。 | | 1 番組が 12 時間以上の番組の場合 |
| | この番組は録画できません。 | | Copy Never の番組を録画した場合 |
| | コンテンツが存在しません。 | 録画番組一覧を選択し、決定したとき | 録画用ハードディスクにコンテンツが存在しない場合 |
| | 年齢制限により、録画できません。 | 予約録画実行時 | 対象番組が年齢制限の<br>対象である場合 |

# ネットワークにつなぐ

ネットワーク機器について
・ルーターのDHCP機能（IPアドレスを自動的に割りあてる）は、「有効」で使用することをおすすめします。
・ルーターのセキュリティー設定によっては本製品からのインターネット接続を遮断する場合があります。ルーターの取扱説明書をご確認ください。

LANポートについて
余った片方のLANポートは、ネットワーク機能付きのテレビなどにつなぐことができます。

# パソコンをサーバーに設定する

## 本製品で再生できるサーバー

● Windows 7 の場合

Windows Media Player 12 を利用して再生します。

【Windows 7 で設定する場合】（117 ページ）へお進みください。

● Windows Vista、XP の場合

Windows Media Player 11 を利用して再生します。

【Windows Vista、XP で設定する場合】（118 ページ）へお進みください。

●他の DLNA 準拠サーバー をご使用の場合

【再生する】（121 ページ）へお進みください。

注意

●著作権保護されたデータは再生できません。

●お使いの DLNA 準拠サーバーにより配信可能なファイルが異なります。
DLNA 準拠サーバーの仕様をご確認ください。

## Windows 7で設定する場合

**1** **Windows Media Player 12 を起動します。**

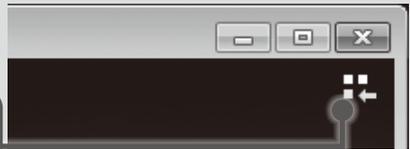
[ スタート ] → [ すべてのプログラム ] → [Windows Media Player] をクリックします。

**2**

**注意　ストリーム設定について**

- ストリーミングがすでに有効になっている場合は、[ ストリーム ] メニューの [ メディア ストリーミングを有効にする ] は使用できなくなっています。
- ネットワークの場所を設定していない場合や、ホームグループに接続していない場合は「ホームグループでのメディアストリーミングを有効にする」という表記になる場合があります。

**プレイビューモードで開いている場合**

右上隅のボタンをクリックします。


**3**

これで設定は完了です。次に【再生する】（121 ページ）へお進みください。

## Windows Vista、XP で設定する場合

**1** **Windows Media Player 11 を起動します。**

[ スタート ] → [ すべてのプログラム ] → [Windows Media Player] をクリックします。

**Windows XP をご使用の場合**

Windows XP に Windows Media Player 11 は、標準でインストールされていません。
Microsoft 社の Web ページからダウンロードしてインストールする必要があります。

**2**

**3**

4
①チェック
②クリック

5
クリック

6
ライブラリ
取り込み
書き込み
同期
再生リストの作成(C)
Ctrl+N
自動再生リストの作成(A)
音楽(M)
画像(P)
ビデオ(V)
テレビ録画(T)
その他(E)
ライブラリに追加(L)...
メディアの共有(S)...
メディア情報への変更を適用(I)
ドラッグ時にお気に入りをリストに追加する(F)
その他のオプション(O)
ライブラリの使用についてのヘルプ(H)
①クリック
②クリック

7
オプション
プレーヤー
音楽の取り込み
デバイス
書き込み
パフォーマンス
ライブラリ
プラグイン
プライバシー
セキュリティ
DVD
ネットワーク
デジタル メディア コレクションの整理と共有について設定します。
共有
自分のメディアをネットワークの他のコンピュータおよびデバイスと共有します。
共有の構成(I)...
フォルダの監視によるライブラリの更新
プレーヤーによってデジタル メディア ファイルを監視するフォルダをカスタマイズします。
フォルダの監視(O)...
ライブラリから削除したファイルをコンピュータから削除する(C)
①クリック
②クリック

# パソコンをサーバーに設定する

本製品で再生するコンテンツを保存するフォルダーを選びます。

これで設定は完了です。次に【再生する】（次ページ）へお進みください。

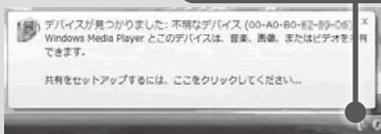
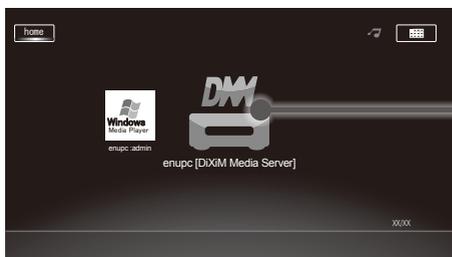
# 再生する

**1**

［電源］を押す

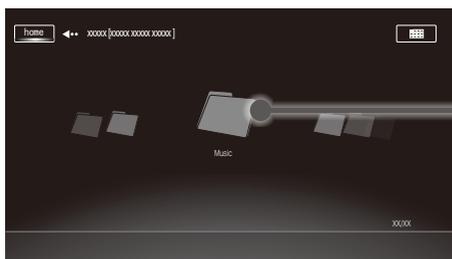
本製品の電源が入り、電源ランプが青く点灯します。

※電源ランプが赤い場合、もう一度［電源］を押してください。

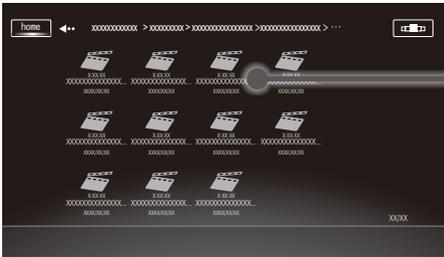
**3**

### パソコンの場合

●コンピューター名は次の方法で確認できます。
[ スタート ] → [ コンピューター ]（マイコンピュータ）を右クリックし、[ プロパティ ] を選択します。

●メディアライブラリ名は Windows Media Player のメディアストリーミングオプション（表示手順「ストリーム」タブ→「その他のストリーミング オプション（メディアストリーミング有効時のみ)」）から確認・変更できます。

**4**

### フォルダやデータ分類に移動する場合

フォルダーやデータ分類を選んで決定ボタンを押します。フォルダ内やデータ分類が一覧で表示されます。

**5**

選んだデータが再生されます。

再生中に表示される情報や再生モードの変更などの操作については、【画面のようす】(94ページ）をご覧ください。

### Windows 7 から本製品をリモート再生するには

①本製品の電源を入れ、リモコンの [AVeL] ボタンを押して AVeL 画面を表示した状態にします。

② Windows Media Player12 を起動します。

③ビデオライブラリを開きます。

ライブラリ
ドキュメント
ピクチャ
ビデオ
ミュージック

クリック

④再生するデータを右クリックし、[ リモート再生 ] → [AVeL Link Player] を選びます。

ビデオ ライブラリ
サンプル ビデオ
再生(P)
Windows Media Player リストに追加(A)
リモート再生
AVeL Link Player

クリック

選んだデータが再生されます。

本製品のファイル共有からパソコンやネットワークハードディスクの共有フォルダを参照する場合、パソコンやネットワークハードディスク側でファイル共有の設定をしてください。

## Windows 7/Vista で設定する場合

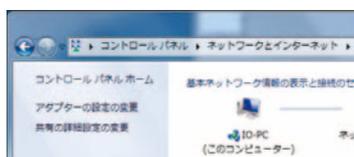
### 1 「コントロールパネル」を表示します。

スタートボタン⇒ [ コントロール パネル ] をクリックします。

### 2 共有の詳細設定を開きます

[ ネットワークの状態とタスクの表示 ] をクリックします。

Windows 7 の場合のみ追加作業

[[ 共有の詳細設定の変更 ] をクリックします。

### 3 以下の項目を変更します。

・ネットワーク探索の
[ ネットワーク探索を有効にする ]、
・ファイルとプリンターの共有の
[ファイルとプリンターの共有を有効にする]、
・パブリックフォルダーの共有の
[ 共有を有効にして、ネットワークアクセスがある場合はファイルを開く、変更する、作成することができるようにする ]
を選びます。
(既に有効になっている場合は変更する必要はございません)。

## 4 さらにパスワード保護共有の [ パスワードの保護を無効にする ] を選びます。設定後、[ 変更の保存 ] をクリックしてください。

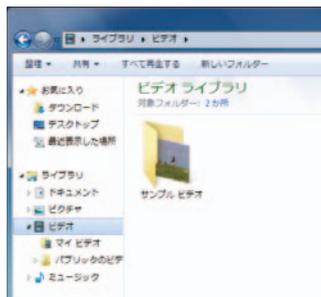
※ Windows Vista の場合は [ 適用 ] を
クリックしてください。

※お使いのネットワークに合わせて、
共有の詳細設定を変更してください。

## 5 パブリックフォルダーを開きます。

Windows 7 の場合

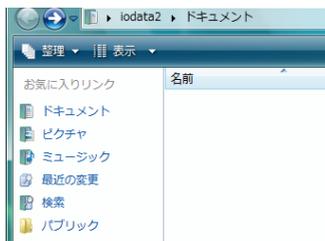
1　[ スタート ]-[ ドキュメント ] をクリックします。

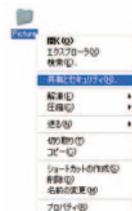
2　保存するファイルの種類にあわせて
[ ライブラリ ] の下にある
[ ドキュメント ]
[ ミュージック ]
[ ピクチャ ]
[ ビデオ ] のどれかの
[ パブリックフォルダー ] を
開きます。

Windows Vista の場合

1　[ スタート ]-[ ドキュメント ] をクリックします。

2　[ お気に入りリンク ](-[ 詳細 ])-[ パブリック ] の順にクリックします。

## 6 パブリックフォルダーに共有したいファイルを 格納します。

以上でフォルダの共有は完了です。
※共有フォルダにユーザー制限を掛ける等の、詳細なファイル共有の設定についてはWindows のヘルプをご参照下さい。

## Windows XP で設定する場合

**1** ファイル共有したいフォルダを右クリックし、
　［共有とセキュリティ］をクリックします。
　⇒ そのフォルダの「プロパティ」画面が表示されます。

**2**「ネットワーク上での共有とセキュリティ」にある
［ネットワーク上でこのフォルダを共有する］をチェックします。
　⇒ そのフォルダの「プロパティ」画面が表示されます。

**3** 共有名を設定します。
⇒通常、フォルダと同じ名前が自動で
　設定されます。

**4**［OK］ボタンをクリックします。
⇒ 共有設定が行われます。

**5** フォルダが共有され、アイコンが下のように変わります。

以上でファイル共有設定は完了です。

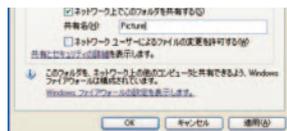
## Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で設定する場合

**1** アップルメニューの［システム環境設定］を
クリックします。

**2** 「システム」-［アカウント］をダブルクリックします。

**3** ［ゲストアカウント］をクリックします。
⇒通常、フォルダと同じ名前が自動で
　設定されます。

**4** ゲストに共有フォルダへの接続を許可］
　　をチェックします。
⇒ 共有ファイルをゲストアカウントで
　　参照することが可能となりました。

**5** アップルメニューの［システム環境設定］を
クリックします。

**6** 「インターネットとネットワーク」の［共有］を
　　ダブルクリックします。

**7**［ファイル共有］をチェックします。

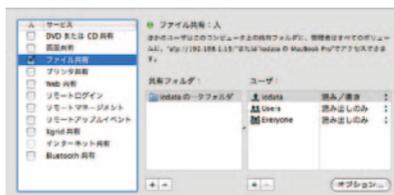
**8** オプション］ボタンをクリックします。

**9**［SMB を使用してファイルやフォルダを共有］をチェックし、
［完了］ボタンをクリックします。

**ゲスト以外のアカウントでログインする**

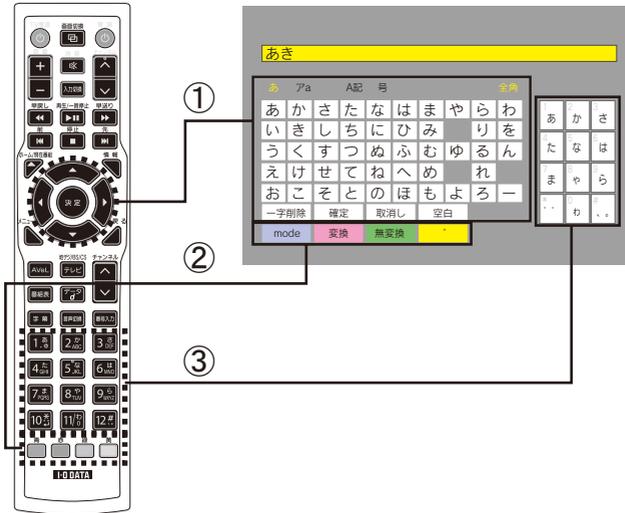
上の画面のアカウントの左にある「入」のチェックボックスにチェックしてください。
そのアカウントでファイル共有機能にアクセスできるようになります。

**10**「共有フォルダ」の［+］ボタンをクリックし、コンテンツを保存するフォルダを選びます。

⇒ このフォルダにサーバーとして
アクセスできるようになります。

以上でファイル共有設定は完了です。

## ネットワークハードディスクの場合

ネットワークハードディスクのフォルダの共有設定は、ネットワークハードディスクの説明をご覧ください。

# ソフトウェアキーボード

＜キー操作＞

①リモコンの［上下左右］キーで該当する文字を選び､［決定］キーを押します。

②カタカナなどに切り換える場合は、［青］キーを押します。
漢字に変換する場合は、ひらがなで入力後［変換］ボタンもしくは［赤］キーを押します。
※表示されているボタンの色とリモコンの色キーが対応しています。
右下の「入力文字とボタンの変化」も参照ください。

③リモコンの［数字］キーを使って携帯電話のように文字を入力することもできます。

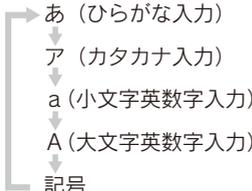
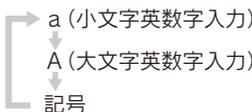
## 漢字の変換画面について

＜キー操作＞

・リモコンの［上下左右］キーで該当する漢字を選び、［決定］キーを押します。
・文節を変更したい場合は［青］［赤］ボタンを押します。
・［戻る］キーで変換前の文字入力画面に戻ります。

# ソフトウェアキーボード

**現在入力している文字によって表示されるボタンが変わります。**
**表示されるボタンには次のようなものがあります。**

| ボタン | 内容 |
|---|---|
| 一字削除 | 入力した文字を１字削除します。 |
| 変換 | 漢字の候補を表示します。 |
| 無変換 | 漢字に変換せず、入力した文字を確定します。<br>引き続き文字を入力できます。 |
| 確定 | 入力した文字を確定し、ソフトウェアキーボードを閉じます。 |
| 取消し | 入力を中断し、ソフトウェアキーボードを閉じます。 |
| 空白 | スペースを入力します。 |
| mode | ボタンを押すごとに入力モードが切り替わります。<br>全角の場合<br>あ（ひらがな入力）<br>↓<br>ア（カタカナ入力）<br>↓<br>a（小文字英数字入力）<br>↓<br>A（大文字英数字入力）<br>↓<br>記号<br>半角の場合<br>a（小文字英数字入力）<br>↓<br>A（大文字英数字入力）<br>↓<br>記号 |
| 半角 | 半角に切り替えます。 |
| 全角 | 全角に切り替えます。 |
| ゛ ゜ | ひらがな・カタカナに濁点・半濁点をつけます。 |
| 大小 | 大文字・小文字を切り替えます。 |

## 入力文字によるボタンの変化について

### 未入力の状態

### 「あ」と入力した場合

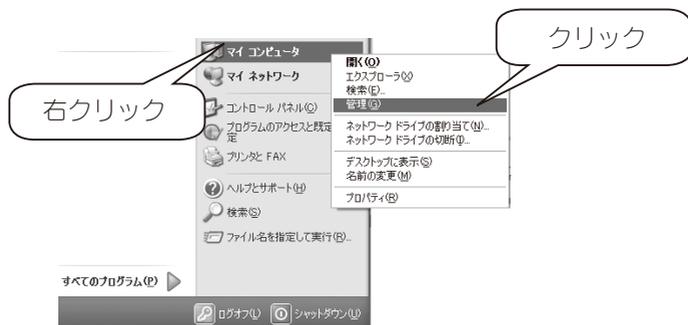
### 「あき」と入力した場合

# 資料　録画用ハードディスクをパソコン用に戻す

本製品での録画用ハードディスクをパソコンで使えるように戻す方法を案内します。
録画した番組データは消去されます。

**1** 録画用ハードディスクをパソコンに接続します。

**2** パソコンの「スタートメニュー」から「マイ コンピュータ※」を選び、マウスを右クリックして「管理」を選びます。

※ Windows Vista、Windows 7 の場合は [ コンピュータ ] を選びます。

**3** ディスクの管理を選択し、ファイルシステムが表示されない「不明なパーティーション」のディスク（本書ではディスク 1）を確認します。
該当するディスクを右クリックし、「パーティションの削除」をします。

下のメッセージが表示されます

Windows 以外の OS でフォーマットされたハードディスク領域も録画用ハードディスク同様に不明なパーティーションと表示されます。
間違ったハードディスクの領域を削除しないようにしてください。間違って削除した場合は元に戻せません。

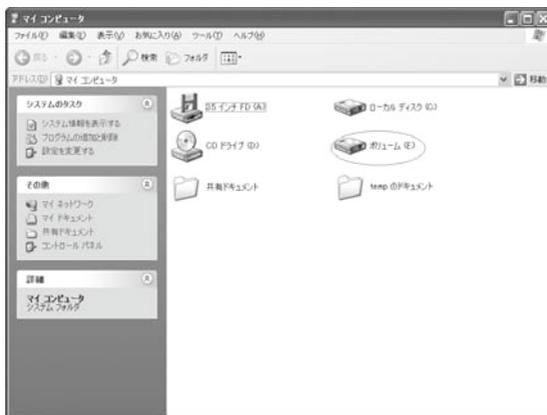


4 パーティションの削除が完了したら、もう一度ディスク 1 を選び、右クリックで「新しいパーティション」を選びます。

# 録画用ハードディスクをパソコン用に戻す

## 5「新しいパーティション ウィザード」が表示されますので、画面の指示に従い「次へ」を選んでください。

→フォーマットが開始されます。
フォーマットが終了したらパソコン用のハードディスクとして使用することができます。
※クイックフォーマットはしないでください。必ず「フォーマット」をしてください。

## 6「マイ コンピュータ」でハードディスクが認識されていることを確認してください。

再度録画用ハードディスクとして使用する場合は、
「録画用ハードディスクを設定する」（35 ページ）を参照してください。

# 製品仕様



## 本製品で視聴可能なデジタル放送

| 地上デジタル | | | 全チャンネル |
|---|---|---|---|
| BSデジタル | 無料 | 公共放送<br>(NHK BS デジタル) | ※BS 1、BS 2 |
| | | 無料放送<br>(民間放送) | ※BS 3～BS 15 |
| | 有料 | WOWOW | 加入契約が必要 |
| | | スターチャンネル | 加入契約が必要 |
| 110 度 CS デジタル（スカパー！ e2） | | | 加入契約が必要 |

※衛星放送契約が必要です。

## 本製品仕様

【チューナー部仕様】

| 放送波 | | 地上デジタル放送 / 衛星デジタル放送 |
|---|---|---|
| 受信方式 | | 地上デジタル放送方式（日本方式）<br>衛星デジタル放送方式（日本方式） |
| 受信周波数 | | 90MHz ～ 770MHz<br>1032MHz ～ 2071MHz |
| 受信衛星 | | BSAT-2、N-SAT-110 |
| 受信チャンネル | 地上<br>デジタル | VHF 1ch ～ 12ch、UHF 13ch ～ 62ch<br>C13ch ～ C63ch ※ CATV パススルー対応 |
| | BS<br>デジタル | トランスポンダ　BS1 ～ BS23 |
| | 110 度 CS<br>デジタル | トランスポンダ　ND1 ～ NS24 |
| 映像形式 | | MPEG2(MP@HL) |
| 音声形式 | | MPEG2-AAC |
| 最大連続録画時間 | | 12 時間 |
| アンテナ入力端子 | | 75 Ω　Fタイプコネクター |
| アンテナ電源供給 | | DC15V( 最大 4W) |
| 視聴可能番組 | | 公共放送 / 無料番組 / 有料番組<br>※有料番組の視聴には、別途契約が必要です。 |
| 地上･BS･110 度 CS デジタル放送機能 | | 字幕放送、マルチ音声、二重音声、電子番組表（EPG） |
| 録画可能放送波 | | 地上デジタル放送 /BS デジタル放送※1 |
| 番組予約 | | EPGによる録画予約、録画予約一覧表示 |

主な対応機能

| CATVパススルー | 字幕放送 | データ放送 | 双方向サービス | 電子番組表（EPG） |
|---|---|---|---|---|
| ○ | ○ | ○ | × | ○ |

# 製品仕様

## 【メディアプレーヤー部仕様】

| 対応サーバー※1 | | ・Windows Media Player 12　対応 OS:Windows 7<br>・Windows Media Player 11　対応 OS:Windows Vista / XP SP1 以降<br>・DLNA 準拠サーバー |
|---|---|---|
| 対応フォーマット※2 | 動画 | WMV9(VC-1)、MPEG-1、MPEG-2 PS、MPEG-2 TS、MPEG-4 ASP、H.264(MPEG-4 AVC)、Xvid |
| | 音楽 | WMA8、WMA9※4、WMA9 Pro、MP3、MPEG-2/4 AAC、PCM、Dolby Digital |
| | 静止画 | JPEG、BMP、PNG※5、GIF※5、TIFF |
| 対応拡張子 | 動画 | asf、avi、wmv、mpg、mpeg、mpe、m2p、m2ts、mts、m2t、mp4 |
| | 音楽 | wma、mp3、m4a、wav |
| | 静止画 | jpg、jpeg、bmp、png、gif、tif、tiff |

※1：サーバーと接続するためには LAN 接続が必要です。
※2：対応フォーマットのデータでも、形式・作成方法・ネットワーク環境などにより、正しく再生できない場合があります。
※3：WMV7、WMV8 には対応しておりません。
※4：WMA9、9.1、9.2 に対応 (lossless 除く )
※5：アニメーション GIF、透過 PNG の透過表示には対応しておりません。

## 【本体仕様】

| 有線 LAN | 転送規格 | 10BASE-T/100BASE-TX |
|---|---|---|
| | コネクタ形状 | RJ-45 |
| | ポート数 | 2 系統 |
| USB | 転送規格 | USB 2.0/1.1 |
| | コネクタ形状 | USB A タイプ |
| | ポート数 | 2 系統 |
| ＳＤカード | 転送規格 | SD、SDHC、Mini SD※1、Micro SD※1 |
| | スロット数 | 1 系統 |
| 映像出力 | | 1 系統 |
| D映像出力 | | 1 系統 (D4 出力対応、アナログ RGB 出力対応※2) |
| HDMI 出力 | | 1 系統 (Ver.1.3a) |
| 音声出力 | アナログL／R | 1 系統 |
| | 光デジタル | 1 系統 |
| ＩＲオプションケーブル入力 | | 1 系統※3 |
| 電源 | | 本体 DC12V( 付属 AC アダプターによる給電 ) |
| 消費電流 | | 800mA( 本体のみ ) |
| 使用温度範囲 | | 0 ～ 35℃ |
| 使用湿度範囲 | | 20 ～ 80% |
| 外形寸法 | | 約 260(W)x185(D)x55(H)mm( 突起部含まず ) |
| 質量 | | 約 1.3kg |
| 各種取得規格 | | VCCI class B 、RoHS、PSE(AC アダプター) |
| 保証期間 | | 1年間 |
| 付属品 | | ・ACアダプター（1.5 m）・ACケーブル（1.5 m）<br>・AVケーブル（1.5 m）・LANケーブル（2 m）<br>・リモコン※4　・動作確認用乾電池（単四形２本）<br>・B-CAS カード　・取扱説明書 ( 本書 ) |

※1：別途専用アダプターが必要です。
※2：別途ディスプレイ出力変換ケーブル「MA-D2A」が必要です。
※3：別途 IR 受光部延長ケーブル「AV-LS500(IR)」が必要です。
※4：同梱のリモコンは複数のテレビメーカーに対応しておりますが、機種によりコントロールできない場合があります。

## 対応フォーマット

### ＊再生できるファイルの種類＊

対応フォーマットと最大ビットレート

※対応フォーマットのデータでも、圧縮設定や環境により正しく再生できない場合があります。

※対応の拡張子でも、ご利用のサーバーにより配信されない場合があります。

※著作権保護されたコンテンツは再生できません。

### ＊動画＊

| フォーマット | | | 最大ビットレート | 最大サイズ | 再生可否 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 映像 | フレームレート (fps) | 音声 | | | DLNA サーバー (LANDISK)※3 | Windows Media Player 11 | Windows Media Player 12 | USB |
| WMV9 (VC-1)※1 | 30, 29.97 | WMA8, WMA9, WMA9 Pro | 10Mbps | 1920 × 1080 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| MPEG-1 | 30, 29.97, 24 | MP2, LPCM, Dolby Digital | 12Mbps | 720 × 480 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| MPEG-2 PS | | MP2, LPCM Dolby Digital | 15Mbps | 1920 × 1080 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| MPEG-2 TS | | MPEG-2/4 AAC-LC, MP2, Dolby Digital | 25Mbps | | ○ | - | ○ | ○ |
| MPEG-4 ASP | | MPEG-4, AAC-LC | 5Mbps | | ○ | - | ○ | ○ |
| H.264 (MPEG-4 AVC) | | MPEG-2/4 AAC-LC, LPCM※2, Dolby Digital※2 | 10Mbps 25Mbps※2 | | ○ | - | ○ | ○ |
| Xvid | 29.97 | MP3 Dolby Digital | 1.5Mbps | 1280 × 720 | ○ | ○ | ○ | ○ |

※ 1：WMV7、WMV8 に対応しておりません。

※ 2：拡張子 m2t、m2ts、mts のみ対応。

※ 3：NAS(LAN DISK) の対応拡張子によっては、表示されない場合があります。
詳しくは、NAS(LAN DISK) の対応拡張子をご確認ください。

＊音楽＊

| フォーマット | 最大ビットレート | サンプリングレート | 量子化ビット | 再生可否 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | DLNA サーバー (LANDISK)※2 | Windows Media Player 11 | Windows Media Player 12 | USB |
| WMA8 | 320kbps | 44.1kHz 48kHz | - | ○ | ○ | ○ | ○ |
| WMA9※1 | | | - | ○ | ○ | ○ | ○ |
| WMA9 Pro | 768kbps | 48kHz | - | ○ | ○ | ○ | ○ |
| MP3 | 320kbps | 32kHz 44.1kHz 48kHz | - | ○ | ○ | ○ | ○ |
| MPEG-2/4 AAC | 448kbps | | - | ○ | - | ○ | ○ |
| LPCM | サンプリングレートに準ずる | 8kHz 44.1kHz 64kHz | 16bit | ○ | ○ | ○ | ○ |

※ 1：WMA9、9.1、9.2 に対応 (lossless 除く )
※ 2：NAS(LAN DISK) の対応拡張子によっては、表示されない場合があります。
詳しくは、NAS(LAN DISK) の対応拡張子をご確認ください。

＊画像＊

| フォーマット | 最大表示解像度 | 再生可否 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | DLNA サーバー (LANDISK) ※ 3 | Windows Media Player 11 | Windows Media Player 12 | USB |
| JPEG | 8192 × 8192 (6700 万画素相当 ) ※2 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| BMP | 2048 × 1024 | ○ | - | - | ○ |
| PNG※1 | | ○ | - | ○ | ○ |
| GIF※1 | | - | - | - | ○ |
| TIFF | | - | - | - | ○ |

※ 1：アニメーション GIF、透過 PNG には対応しておりません。
※ 2：次の 3 つのいずれかの条件を満たさない場合、最大解像度はこれより小さくなる場合があります。
(Color Space が YCbCr、非 Progressive mode、フォーマットが YUV420/YUV422/YUV444 である必要があります。 詳細は、ご利用のカメラメーカー様にご確認ください。)
※ 3：NAS(LAN DISK) の対応拡張子によっては、表示されない場合があります。
詳しくは、NAS(LAN DISK) の対応拡張子をご確認ください。

＊対応拡張子＊

| | |
|---|---|
| 動画 | asf、avi、wmv、mpg、mpeg、mpe、m2p、m2ts、mts、m2t、mp4 |
| 音楽 | wma、mp3、m4a、wav |
| 画像 | jpg、jpeg、bmp、png、gif、tif、tiff |

■地上 / ＢＳ /110 度ＣＳデジタル放送について
・録画した番組を再生するには録画時に使っていた本製品とハードディスクが必要です。
・本製品が故障した場合はそれまでに録画した番組が再生できなくなります。
・録画データを保存したハードディスクが壊れた場合、それまでに録画した番組を再生できなくなります。
・放送局側よりダビング 10 に非対応として放送される番組においては、録画を行えない場合があります。
・録画した番組のデータ放送は表示されません。
・地上デジタル放送と BS・110 度 CS デジタル放送の同時視聴・録画には対応しておりません。
・地上デジタル放送に対応したＵＨＦアンテナやブースター、混合器などが必要になる場合があります。
・5.1 ｃｈマルチ・チャンネルには対応しておりません。2 ｃｈステレオにダウンミックスされます。

■注意事項
・本製品は地上デジタル・ＢＳデジタル・110 度ＣＳデジタルともに日本国内専用となります。海外では使用できません。
・本製品で記録した映像、音声を個人の鑑賞以外の目的で使用しないでください。
・最大連続録画時間は1番組 12 時間までです。12 時間を経過したら自動的に録画を終了します。
・本製品は多チャンネル同時視聴はできません。
・本製品に複数のハードディスクを接続していると録画できません。録画時はハードディスクを１台にのみ接続してください。

■アンテナについて
・屋外にアンテナを設置する場合は、デジタル放送に対応した UHF アンテナが必要です。（13ch ～ 62ch）
・ケーブルテレビ (CATV) をご使用の場合はケーブルテレビ会社からの通信方式がパススルー方式であれば本製品を使用することができます。配信方式についてはご契約のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。
・地上デジタル放送の受信には送信等の方向に地上デジタル放送受信用のアンテナを設置する必要があります。
・CATV の BS デジタル放送は、CATV 用に変換されているため受信できません。BS・110 度 CS デジタル放送の視聴には別途 BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナをご用意ください。
・アンテナの受信感度が低い場合はアンテナを調整していただくか、デジタル放送対応のブースターで電波を増幅させてください
・本製品を設置される地域（場所）が地上デジタル放送を視聴可能かどうかは最寄りの家電販売店や「総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター」にお問い合わせください。

・本製品のファームウェアのアップデートを行う場合やアイ・オー・ポータルを利用する場合は、インターネットの接続環境が必要です。
・本製品では動画ストリーミングサービスをお客様に円滑に提供することや、通信のトラフィック量を調査することを目的として、お客様のアクセス履歴などの情報を使用します。
・お客様によりよいサービスをより多く提供するために機能追加やファームウェアのアップデートを有償で提供する場合がございます。
・本製品はリアルタイムに情報提供を行うために、広告機能を有しております。予めご了承ください。
・動画共有サービスプレーヤーはβ版のため予告なく終了することがあります。

# デジタル放送に関するお問い合わせ

2011 年 4 月現在の連絡先です。

## 有料 BS デジタル放送局

**WOWOW**

**0120-580807**
受付 9:00 ～ 20:00（年中無休）
**http://www.wowow.co.jp/**

**スター・チャンネル**

スター・チャンネルカスタマーセンター
**0570-013-111**
**（PHS、IP 電話のお客様は**
**045-339-0399 ）**
受付 10:00 ～ 18:00
**http://www.star-ch.co.jp/**
なお、スター・チャンネル BS の加入申し込みは、以下の「スカパー！ e2 カスタマーセンター」へお問い合わせください。
**0570-08-1212**
**（PHS、IP 電話のお客様は**
**045-276-7777 ）**
受付 10:00 ～ 20:00（年中無休）
**http://www.star-ch.co.jp/**

## 地上デジタルの受信相談

**総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター**

**0570-07-0101**
**（IP 電話などでつながらない方は**
**03-4334-1111）**
（平日 9:00 ～ 21:00、
土・日・祝日 9:00 ～ 18:00）

## 受信地域、受信方法など

**（社）デジタル放送推進協会（Dpa）**

**http://www.dpa.or.jp/**

## B-CAS カードについて

**株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ・カスタマーセンター**

**0570-000-250**
**（IP 電話からは045－680－2868）**
受付 AM10:00 ～ PM8:00（年中無休）
**http://www.b-cas.co.jp/**

# サポートセンターへのお問い合わせ

ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

## お問い合わせについて

**必ず以下の内容をご確認ください**

**［困ったときには］をご覧ください**

➡ 【困ったときには】（104 ページ）

**弊社サポートページの Q&A を参照**

➡ http://www.iodata.jp/support/

**それでも解決できない場合は、 サポートセンターへ**

**電話 ： 050-3116-3015**

※受付時間　9：00～17：00　月～日曜日（年末年始・夏期休業期間をのぞく）

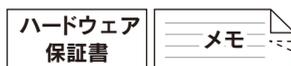
**FAX ： 076-260-3360**

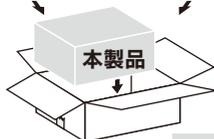
**インターネット ： http://ww w.iodata.jp/support/**

< ご用意いただく情報 >

・お使いの弊社製品名、トラブルの起こった状態、トラブルの内容、現在の状態。（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

## 修理について

**修理をご依頼される場合は、以下の要領でお送りください。**

●氏名　●住所　●電話番号
●FAX 番号　●メールアドレス　●症状

※メモの代わりに Web 掲載の修理依頼書を印刷してご利用いただくと便利です。

**梱包は厳重に！**

弊社到着までに破損した場合、有料修理となる場合があります。

紛失をさける為 宅配便・書留ゆうパック でお送りください。

**〒920-8513**
**石川県金沢市桜田町2丁目84番地**
**株式会社　アイ・オー・データ機器　修理センター 宛**

- B-CAS カードは入れないでください。
- 修理前に録画した番組は再生できなくなります。
- 送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担とさせていただいております。
- 有料修理となった場合は先に見積をご案内いたします。（見積無料）金額のご了承をいただいてから、修理をおこないます。
- 内部データは厳密な検査のため、消去されます。何卒、ご了承ください。バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップをおこなってください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
- お客様が貼られたシール等は、修理時に失われる場合があります。
- 保証内容については、保証規定に記載されています。
- 修理をお送りになる前に製品名とシリアル番号（S/N）を控えておいてください。

**修理について詳しくは… http://www.iodata.jp/support/after/**

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) テレビやビデオの映像は著作権法により保護されています。これらの映像は法令の範囲内でご利用ください。
6) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

● I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
● Microsoft ,Windows および Windows Vista ロゴは、米国または他国における Microsoft® Corporation の登録商標です。
● Windows 7, Vista, XP, 2000 はそれぞれ Windows® 7,Windows Vista®,Windows XP,Windows 2000 Operating system の略称として表記しています。
● HDMI、HDMI のロゴ、High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
● Dolby、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
● AVCHD および AVCHD ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の登録商標です。
● 本製品は、米国特許その他の知的財産権で保護されているコピー保護技術を組み込んでいます。
このコピー保護技術を使用するには、Rovi( 旧 Macrovision) の承諾を得なければなりません。
Rovi( 旧 Macrovision) の承諾を別途得ている場合を除き、このコピー保護技術は、家庭での使用その他限定的なテレビ視聴での使用を意図しています。リバースエンジニアリングまたは逆アセンブリは、禁止されています。This product incorporates copyright protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights. Use of this copyright protection technology must be authorized by Macrovision,and is intended for home and other limited viewing uses only unless otherwise authorized by Macrovisionl. Reverse engineering or disassembly is prohibited.
● DigiOn、DiXiM は株式会社デジオンの登録商標です。
● 本製品は DynaFont を使用しています。Dynafont は DynaComware の登録商標です。
● その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
● 仕様および外観は製品改良のために予告なく変更されてることがあります。

# 保証規定

## 1 保証内容

取扱説明書・本体添付ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本保証規定の記載内容に基づき、無料修理または、弊社の判断により同等品への交換をいたします。修理のため交換された本体もしくはユニット単位の部品はお返しいたしません。

## 2 保証対象

保証の対象となるのは製品の本体部分のみで、添付ソフトウェアもしくは添付の消耗品類は保証の対象とはなりません。

## 3 修理依頼

修理を弊社へご依頼される場合は、製品とハードウェア保証書を弊社へお持ち込みいただけますようお願いいたします。送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。また、発送の際は必ず宅配便をご利用いただき、輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。

## 4 保証適応外

保証書をご提示いただきましても、次の場合は有料修理となります。

1) ご購入日から保証期間が経過した場合。
2) 修理ご依頼の際、ハードウェア保証書のご提示がいただけない場合。
3) ハードウェア保証書の所定事項（型番、お名前、ご住所、販売店欄（保証期間が無期限の製品は除く）など）が未記入の場合、または字句が書き換えられた場合。
4) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害、その他の天変地変、公害または異常電圧による故障もしくは損傷。
5) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃などお取り扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷。
6) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器に起因する故障もしくは損傷。
7) 取扱説明書に記載の使用方法または注意に反するお取り扱いに起因する故障もしくは損傷。
8) 弊社以外で改造、調整、部品交換などをされた場合。
9) その他弊社の判断に基づき有料と認められる場合。
10) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外での使用。

## 5 弊社免責

本製品の故障、または使用によって生じた保存データの消失など、直接および間接の損害について、弊社は一切の責任を負いません。

## 6 保証有効範囲

ハードウェア保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
※ハードウェア保証書は、ハードウェア保証書および本保証規定に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。ハードウェア保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

### お願い

本商品および本商品の取扱説明書の内容の一部または全部を、弊社の許諾なしに複製することはできません。ハードウェア保証書は所定事項が記入されることにより有効となります。本商品は、将来改良のため予告なく変更する場合があります。本商品、またはこの一部をご利用になる商品を販売される場合は弊社営業までご相談ください。

取扱説明書などの注意書きにしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、商品とハードウェア保証書をご持参ご提示の上、お買い求めの販売店または弊社（修理センター）にご依頼ください。

HVT-BCT300　取扱説明書　2011.5.31
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地

# ハードウェア保証書

☆印の箇所は楷書で明確にご記入ください。記載漏れがありますと、保証期間内でも無料修理が受けられませんのでご注意ください。
販売店欄は販売店でご記入いただくものです。記入がない場合はお買い上げの販売店にお申し出ください。(保証期間が無期限の製品においては不要です。) また、本書は再発行いたしませんので保証規定とともに紛失しない様大切に保管してください。

| ☆お客様 | 〒□□□-□□□□<br>ご住所 |
|---|---|
| | (ふりがな)<br>お名前　　　　様 |
| | TEL . (　　　)　　　– |

| 販売店 | 住所・店名　　印 |
|---|---|
| | TEL . (　　　)　　　– |
| ご購入日 | 年　　月　　日 |

| 型番 | HVT-BCT300 |
|---|---|
| 保証期間 | ご購入日より12ヶ月間有効 |

保証内容等につきましては、保証規定をご参照ください。

I·O DATA
株式会社アイ・オー・データ機器

107327-04

デジタルライフの夢を拡げる

株式会社アイ・オー・データ機器

本社サポートセンター：〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/